

日工販ニュースVol.18 No.11・12



もくじ

巻頭言「孔子から学ぶ企業倫理」	日工販理事 津上 健一	2
JIMTOF2006特集		
概要		4
日工販JIMTOF座談会		5
JIMTOF2006印象記(久家 満・谷崎 啓・長瀬 幸泰・金子 善昭) ...		13
甘口辛口「朝の挨拶」	ワシノ商事(株) 渡邊 昭夫	17
話題の技術「門形五面加工機MVRシリーズ、完全ドライカットホブ盤GEシリーズのご紹介」	三菱重工業(株) 境 弘明	18
私の読書評「大地の咆哮」	山下機械(株) 山下 隆蔵	21
SE教育「SE講座・更新研修集合教育実施報告」合格者」.....		22
議事録「政策」理事会」教育」インターネット・ネット会議」 「中部工場見学会」中部製品研修会」西部製品研修会」.....		24
ゴルフ会「東部」西部」.....		31
工作機械と私「一期一会」	常盤産業(株) 江原 春樹	32
リレー随筆 Part 2 「タッチアンドゴー」	(株)兼松KGK 村岡 悠子	33
統計資料「FA流通動態調査1・2」「マシニングセンタ動向」「NC旋盤動向」 「工作機械受注高月別推移」「工作機械業種別受注額(2006年10月)」.....		34
消息・行事		39
会員会社		40

「孔子から学ぶ企業倫理」



日工販理事

津上 健一

(トッキ・インダストリーズ㈱取締役社長)

相も変わらず官も民も道德心や倫理観が希薄になっており、コンプライアンス(法令遵守)に対する認識が高まっているにもかかわらず、最近では空しささえ感じる。

倫理観のある企業として信じている我々の業界に関連している企業による外為法違反事件では、経営トップを初め多くの逮捕者を出し、汚泥処理施設建設工事をめぐる談合事件では、「クボタ」「荏原製作所」など11社が告発されたのは記憶に新しい。


また、福島県のダム工事をめぐる収賄事件では、前知事が起訴され、和歌山県の知事が県発注工事をめぐる談合事件で逮捕されるなど、不祥事が後をたたない。

その様な折、会社近くにある「八重洲ブックセンター」の井上靖コーナーで、晩年の作品である「孔子」が文庫本として出版されており、以前から気に留めていたので買い求めた。

孔子は約2,500年前の中国春秋時代末期の思想家として、人のあるべき道を説いた聖人として有名であるが、井上靖は今から17年前の82歳の時に、人間性豊かな孔子を描いており、日本人への倫理観に対する警鐘と受けとめることができる。

孔子は為政者のあり方、官僚の心構え、人の生き方などについて多くの名言を残しているが、井上靖の「孔子」では特に「仁」について多くの記述を割いている。

例えば、「仁」という字は人偏に二を配している。親子であれ主従であれ、出会った未知の間柄であれ、とにかく人間が二人顔を合わせれば、その二人の間にはお互い守



らなければならない規約とでもいったものが生まれてくる。これが「仁」というもので、他の言葉で言うと、思いやり、相手の立場に立ってものを考えるということである。

孔子はまた、「信」についても熱心に説いている。人間は嘘を言ってはいけない。口から出すことは、おしなべて本当のこと、真実でなければならない。これは生きていく上での人間同士の約束である。お互いに相手の言うことを信ずることができて、初めて社会の秩序が保たれていくのである。それ故に「人」という字と「言う」という字が組み合わされて「信」という字ができています。

いちいち尤もな教えで、経営や多くの人と会う仕事に携わる者は、時々孔子の教えを反芻してみる必要がある。

最近の出来事を考えると、もしも孔子が現代に生きていたなら、「人間は2,500年経っても少しも進歩していない。」と嘆くかもしれない。

工作機械業界のみならず、製造業では、技術職にしても一線級の営業職にしても、企業が求める人材に成長するには5～10年の経験が必要である。

しかし最近では、就職情報誌や一般誌まで転職を奨励し、第二新卒といった表現で、入社2～3年の若者が、業界の本当の楽しさを経験することなく転職する。また、それが流行りの格好いい生き方だといった傾向があるように思う。当然ながら企業に対する倫理観が生まれるはずはなく、将来を考えると懸念を抱いてしまう。

現在、各社のNC工作機械は、グローバルに納品され稼動しており、高機能・高精度が一層進んでいる。

日本の輸出貿易管理令を遵守するためには、企業の利益よりも社会正義を優先し、企業倫理を考えることを常日頃から意識し行動することで不祥行為は避けられ、どの業界より健全であり続けたいと願うのである。

2,500年前の孔子の教えは、今も生きており、現代でも多くを学ぶことができる素晴らしさを実感することができる。

JIMTOF 2006

第23回 日本国際工作機械見本市 JIMTOF2006 開催



概要

11月1日(水)より11月8日(水)までの8日間、東京ビッグサイトで「モノづくり、人づくり、夢づくり」のテーマで第23回日本国際工作機械見本市JIMTOF2006が開催されました。21カ国・地域から557の企業・団体が2,125小間に展示し、前回は上回る最大規模のJIMTOFとなりました。国内外の好調な市場環境を背景に好天にも恵まれ、学生の入場無料をはかったこともあり連休中は1日3万人を超える来場者で賑わい、8日間の総入場者は前回は6%強上回る130,908人に達しました。(複数日来場者を含めた入場者総数は154,082人)

会期中ビッグサイト内会議棟では「モノづくり、人づくり」をテーマにしたセミナー、学生を対象としたシンポジウムも開催され、更に会場内には一般展示に加え、全国技能五輪大会上位入賞者による汎用旋盤による加工実演、全日本学生フォーミュラー大会出場マシンの展示、工作機械産業の航空機産業との関わりの紹介があり、多くの来場者の関心を呼んでいました。

会期中には、日工会をはじめとする各団体、出展者主催のレセプション、テクニカルセミナーが開催され大いに盛り上がっていました。

日工販では11月7日に調査広報委員会主催で会員有志の出席の下、会議棟内会議室においてJIMTOF2006座談会を開催し、今回のJIMTOFの印象について語っていただきましたので、その詳細を掲載します。

尚、次回の第24回JIMTOFは2008年10月30日(木)より11月6日(木)までの8日間、東京ビッグサイトで開催されます。

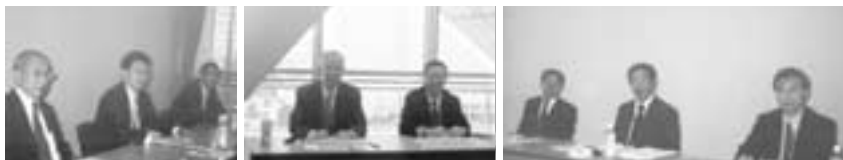
JIMTOF 2006

座談会

日工販JIMTOF座談会

日時 / 平成18年11月7日(火) 16:00 ~ 19:00

場所 / ビッグサイト会議棟6階602会議室



出席者：(敬称略)

座長：田尻 哲男(株)トーメンテクノソリューションズ社長)

座員：渋谷 保(株)旭商工社 テクニカルソリューション部副部長)

高桑 俊明(株)エムエムケー 第二営業部シニアセールスマネージャー)

曾田 正行(株)三機商会 営業部長)

河合 康二(サンコー商事(株) 刈谷支店 GM)

花里 幹雄(三菱商事テクノス(株) 産業機械副事業部長)

相羽徳三郎(株)山善 機械統括部 開発・貿易担当部長)

司会：荘司 博章(日工販専務理事)

はじめに...

司会：JIMTOF開催7日目を迎えましたが、本日は営業の責任を担う方にJIMTOFの印象を忌憚なくお話しいただきたく、お集まりいただきました。まずは田尻委員長から口火を切っていただきますでしょう。

田尻座長(以下田尻)：大変お忙しい中、お集まりいただき有難うございます。

JIMTOFは大変盛況のようです。本日の座談会は日工販調査広報委員会が主催しJIMTOFに対する生の声を会期中にお聞きし、会員の皆様へ日工販ニュースを通じてお伝えすることを目的としています。

今回のJIMTOFは、年間受注1兆4,000億円を超える好調な環境を反映した展示会であり、

出展各社は従来に増してお金をかけていますし、重厚長大産業の復活もあり大型機械の展示も目に付きました。

また匠の技の実演、学生を招待する等主催者側の前向きな意図が随所に見受けられた展示会であると実感していますが、これから皆さんと意見交換をして行きたいと思います。

今回のJIMTOFで

印象に残ったことは何ですか？

司会：最初に自己紹介を兼ねて順番に今回のJIMTOFで印象に残ったことをまずは簡単にお

JIMTOF 2006

話していただきます。

渋谷：当社は自動車関連のユーザーが中心で、今までは専用機の販売が多かったのですが、最近の多品種少量生産への動きにより、マシニングセンタを並べたラインが多くなっています。

お蔭様で3年ほど前から自動車の好調を反映して当社も業績を伸ばしています。今は小康状態ですが来年秋頃から08年頃までは良くなると判断しています。

JIMTOFには300名ほどのお客様の来場が見込まれています。

高桑：2年半前から業界対応型組織に変え、私の部は金型分野、精密加工分野を担当しています。

JIMTOFではブースを構えて、成形ユーザーをターゲットにして金型づくりから成形機による製品づくりまでのトータルソリューションを提案しています。

当社への来客は、一日あたり150名から200名位で、その中に大きな引き合いが何件ありました。

曾田：当社は地場商社として大田区を中心に、品川、川崎、横浜のユーザー、またそこから地方へ出て行ったユーザーを対象にしています。

技術を継承してきている職人さんの社長達が目光らせている町工場の集まりですが、何回かの景気の波を経て今では9,000社あった町工場が5,000社を切っているのではないかと云われ、モノづくりの基盤が弱くなってきています。土地の高騰もあり、型屋さんも少なくなっていますが、試作屋さんが頑張っています。

お客様の来場は300件を超えており反応は非常に良いです。

相羽：JIMTOFにバスを仕立てる商社が多く、地方の小さな商社も好調なせいかバスで客先を動員していますね。

当社は先々を考え大手中堅ユーザーを開拓していますが、実は中小零細ユーザーに根を張っています。受注全体が2桁以上伸びている中で、自動車産業の状況により名古屋が落ちています。

JIMTOFの勢いもあり11月の受注次第では08年までは調整局面が無いまま景気は順調にいきそうに思います。

JIMTOF全体の印象としては、今売れているので従来機をより高速化、高精度化したとの感想を持ちましたが、一部のマシニングセンタ、EDM、測定機には今後の方向性が示されており印象に残りました。

花里：当社は国内及び海外までをテリトリーとして、社員は300名を超えています。

販売は山善とは逆に大手、中堅客先への直販が主体です。総合商社としてかなりの種類のものを取り扱っています。

今回のJIMTOFは展示場も広くなり、森精機等大手メーカーの展示はすごいですね。複合旋盤が旋盤プラスマシニングセンタの機能を持つように進化しており、さらに研削機能を持った機種もあり、この多機能機が深く印象に残りました。

河合：当社は名古屋に本社がある関係で自動車関連を中心とした取引が売上げの多くを占めており、全体的にも取り引きユーザーが多いです。

JIMTOFでは担当者は極力客先同伴で対応していますが、名古屋という地域性もあり、更に大手ユーザーが多いので、なかなかJIMTOF会場への動員は難しいですね。その代わりに年1回メーカーとタイアップしてプライベートショーを実施しています。

JIMTOFへの狙いは？ 反響やその成果は？

司会：日工販の会員には総合商社系、地域に根を下ろした商社、業界に特化した商社或いは代理店経由販売の商社とバラエティに富んでおり、本日は大体網羅出来るようにお集まり頂きました。それぞれJIMTOFを活用する狙いがあると思いますが、そうした観点から今般のJIMTOFをどう感じられたか、また反響・成果についてお聞かせください。

河合：会場が大きいので各メーカーのいろいろな製品を一度に見られる事が一番のメリットだと思います。

田尻：私もそう感じます。客先が必要とする工作機械が多岐にわたる場合に、こうした大きな展示会でまとめて機械を紹介出来、メーカーとも一度にお話が出来て、客先の感触・反応もある程度得られます。

司会：先ほど渋谷さんのお話にもありましたように自動車関連のラインが多品種生産に対応できる単体機の組み合わせとなってきましたが、そのことに伴うマシニングセンタ、旋盤メーカーの対応はどうでしょうか。

渋谷：自動車部品加工向けに#30の機械でラインを組む傾向が見られます。今や商社でも技術屋を抱え単体機械を選別し、ラインを組んだ提案型の商談をしていかなければ採用されませんね。

司会：#30で加工できるという事は加工方法も変わってきたという事ですね。

渋谷：素材、取り代も変化しており、ダイキャストでほとんど取り代がなくなってきましたので、高速回転、高送り加工が求められていま

す。

司会：自動車部品のような量産加工とは別に、精密加工分野に関しても各社力を入れていたようですが、その他目に付いた点をお聞かせください。

河合：今回について言えば省スペース機、複合加工機の印象が強いのですが、変わった機械が散見され、羅列しますとオークマのりニア駆動の門型5軸機、ソディックの放電加工とウォータージェットハイブリッド機、それに超硬加工で従来の5倍の加工速度を実現した放電加工機、旋削機能の付いた大鳥機工の門型機、高精度超高速5軸スキャニング測定を実現したレニショーの測定器がありました。評価はこれから固まってくるでしょうが他社も追随してくると思います。

曾田：ソディックのハイブリッド機はどこまでの厚みが切れるのか、どのような業界で使われるのが注目したいですね。

森精機の5軸機はゆりかご式から何故以前の片持ちタイプに復活したか不明ですが、DDモータを搭載しており高速送りが可能となり、大田区のユーザー層では使える機械になってきています。

ソディックですがGコードを使わないINC機があり、CADデータをそっくり転写できます。コネクタに代表される精密加工分野に対しソディックがワイヤー加工機を出しています。

超精密機械として碌々、牧野が展示していますが最先端の機械は出ていないようですね。

司会：IMTSとは性格が違って、各社ユーザー層を絞って新しいものに挑戦して開発している印象を受けたのですが、機械との絡みが大きい切削工具では何か新しい動きはありましたか。

花里：三菱マテリアルのブースでオークマの機械を展示しデモをやっていましたが、機械メー

JIMTOF 2006

カーとのタイアップしたデモであり考え方は面白いと思います。

司会：この他に工夫されたデモ展示は他にありましたか。

相羽：ビデオで内部の加工を見せていたところがあり、臨場感がありました。

河合：森精機の展示のレイアウトは広く見やすく、ワークの実例展示は参考になりました。

田尻：展示機を見ながら商談が出来て非常によく工夫されていると思います。

相羽：ドリームコンテストも技術の粋を見せていたのでユーザーには参考になっています。

司会：ワークサンプルの展示が増えてきており、お客様にアピールするという事で展示の仕方も変わってきていますね。

曾田：ドリームコンテストがお客様参加型の第一弾と思います。大鳥機工、松浦機械は5軸加工で実際にお客さんの名前を出して加工品を展示し、お客様が積極的に参加しています。これまでのメーカーの凝りに凝った複雑形状のワークではなく、こうしてお客さんの技能と腕、CAD/CAMを駆使したワーク展示はアピールする力がありますね。森精機はこうした展示は6年前からやっており各社影響を受けているようです。

2時間待ちの今回の受付！

司会：今回の入場者は6日まで12.5万人、重複を除くと10.8万人で、2年前の10.6万人と比べ多少多いくらいです。

西館の2階は空いていており、混雑が一部のところに固まってしまっていますね。受付の混乱もあり、気の毒なのは入場登録に2時間以上待た

された方がいました。

また後日対策をとったようですが、カタログの宅配手配に行列が出来、通路を遮って通行が邪魔になる場面もありました。

曾田：メーカーによっては送ってくれるところもありますが、カタログは重くて大変ですね。また入場登録には混乱が生じてお客様より苦情が多かったですね。

河合：個人情報の関係により、慣例となっていたお客様に代わって登録が出来なくなった訳ですが、お客様からのご理解を得るのは大変でした。

曾田：よりによって登録済みユーザーの代表者に葉書が来ないケースがありました。

司会：機会をとらえて当会としても改善を申し入れたいと思います。

来場者・お客様の反応は？ 目に付いた技術分野は？

高桑：先ほどの印象に残った機械ですが、ご案内したお客様からは画期的な機械は多くはないとのコメントが多く、確かに5軸機とか複合機は前回も出展されていました。

然し、DDモータ、高精度NC等の要素技術は2年前に比べ着実に進化していると思います。

5軸機も完成形に近づいているようです。

曾田：市場は小さいと思いますが、牧野が出していた砥石で硬いものを仕上げる事が出来るアイグライNDERは画期的な技術だと思います。

司会：旋削加工と研削加工・レーザー加工・ウォータージェット加工等がワンチャッキングでできる機械を、どれだけユーザーが使えるか、アプリケーションが重要になってくるで

JIMTOF 2006

しょうね。

田尻：お客さんが将来こんな加工ができるとういなものを取っている技術が出てきています。これは日本のメーカーの得意技であり、お客さんのニーズを絶えず検討しているからだと思います。

もっと言うと、我々のような販売会社が絶えずお客の情報をきちんと伝えているからとも言えるのではないのでしょうか。

高桑：アイグライNDER開発も自動車関連ユーザーの情報を伝えた結果ではないかと思いません。

花里：ホーコスのベッドレス機械の構造、剛性はどうなっているのか興味がありましたが、混んでいて順番を待っていたのですが結局あきらめました。

相羽：メーカーのターゲットユーザーとして医療関係がある割には、その関連の展示があまりなかったように思います。

司会：それは米国では医療関係向け工作機械のマーケットが大きいのですが、日本ではまだ少ないからだと思えます。

一部日本のメーカーは欧米向に力を入れており、国内市場はこれからではないのでしょうか。

田尻：自動盤の各メーカーは、欧州向けの実績が多いようで、お話を伺ってみると多くが医療関連向けに実績を上げているとの事で、欧州、北米は医療関連そして航空機関連の市場があります。

司会：欧州は一般産業が多いと思えます。北米は自動車もありますが、軍需そして航空機、医療があり、最近では日本もそうですが建機が好調ですね。

ところで新しい技術に挑戦しているお話がありました。他に目についた技術分野はありましたか。

田尻：5軸加工になって干渉、熱変位への対策がこの2年間で進みましたね。

だからこそワンチャッキングでのマシニングと旋削加工が可能になったと言えるのではないのでしょうか。

曾田：国内の5軸マシニングセンタもしくは複合機のメーカーは、機械構造物のCADデータをお客さんに提出しない事が原則となっています。

そうすると干渉チェックを含め5軸のプログラムを作るのに大変な制約となってきます。今後の課題としてCADデータを公表してくれないと5軸の販売を伸ばす事が難しいと思えます。

河合：現状では5軸を使いこなすプログラムを作るのは難しいですね。

田尻：ファナックが複合緩衝防止ソフトを出していましたが。

曾田：詳しく聞いていませんが、お客さんはまだ使いきれないのではと思えます。

一方DMGはデータを公開しており、これがDMGの5軸機が売れている一因ではないかと思えます。

花里：キタムラは海外輸出が多く、ブラジル等にもでており、アフターサービスはどうかと聞いたら、NCの画面上で組図、部品図が見られるように入れて出荷しているとの事で、これにより客先は応急処置ができる訳です。

司会：お客さんを実際にJIMTOFにご案内しての評価、あるいは反応はどうでしょうか。

エム・エム・ケーのブースには相当お客さんが来られていたようですが、如何ですか。

高桑：いままで以上に具体的な図面、ワークを持ってきて打ち合わせしたいというお客さんが数件ありました。

機種選定をして、その場で見積もりを要求されますが、各メーカーを回って実際に機械を絞って来ていますね。前回に比べてホットな引

JIMTOF 2006

き合いが出ています。

渋谷：加工方法に困っているお客さんがメーカーを回って来ており、実際に商談は3億円ほど決まっていますね。客先の反応は良いですね。

河合：お客さんに伺ったところサプライズはなく、もう少し変わったやり方はないのかとの意見がありますが、メーカーも2年で技術革新的な開発をするのは難しいと思います。

従って、お土産に持って帰れるものは少ないとお客さんは言うておられました。

お客さんは生産量が多いので、自社でシステムとして展開している村田機械、ツガミ等が目につきます。

例えば、同じ機械を2台並べてセットで展示すれば、1台と比べると見る目が違い、どういう加工が出来るか違うソリューションがうかがわれます。

渋谷：大手客先の計画は来期だが、今受注を受けても機械がありません。情報をキャッチする意味で見学をする価値はあります。

田尻：グループとしてジェイテクトとオークマが合併効果を強調する展示の仕方をしていました。森精機もしかりですね。

司会：各社量産体制をとられています、それでも納期が縮まりませんね。

さて、これまでメーカーの技術動向、展示の内容、お客さまの評判等をお聞きしましたが、肝心なのは販売面にどう繋がるかですが、今後の見通しについてご意見をお聞かせ下さい。

今後の見通しについて

花里：JIMTOF後の動向としては12月から動き、春に発注され来年夏に納入という予測があ

ります。あるメーカーは造船、航空機、建機の動き次第では来年の増産も考えているようです。

河合：ここ数年景気は良いと思いますが、やはり先ほどお話が出たようにますます提案営業が重要となってきたり、商社の存在価値が問われてくると思います。

この展示会を利用して客先のニーズに合う商品を見つけていきたいと思います。

花里：メーカーは長納期となっていますが、2008年頃までは大丈夫とみているようです。

メーカーが設備投資をしていますが、需給のバランスが崩れると、『山高ければ谷深し』の例えのようになると困りますね。名古屋地区ですが、金型が海外に食われていて落ちており心配しています。

相羽：メーカーを絞ったアフターJIMTOF展示会を開催するとか、小さな個別の展示会を提案していく予定です。

来年は忙しくなりそうですし、2009年まではこのまま好調を維持しそうです。

しかし2007年問題により人手不足という理由から海外に工場を移転せざるをえないという問題が起きてくると思います。中国ではびっくりする位の用地が出ています。

司会：機械工、技術者が足らなくなっていく訳ですが、今日話題に出ていませんがロボット及びロボットのセンシング機能がこうした問題を補うべく相当進んできており、メーカー各社も注目し機械との組み合わせを考えています。

我々商社も省人化システムをユーザーに紹介していかなばなりません。お話は戻って、今後について引き続きご意見をお聞かせ願います。

曾田：買えるお客は既に設備を買っています。

ところがそれに次ぐところの設備は非常に古

JIMTOF 2006

く、設備年齢が10～12年以上の機械が現役で動いています。

先見の明があるところは、ここ4～5年で更新しています。設備投資をしていないお客にどうやって買っていただくか、その一つの答えとして今般展示されているマザックのネクサスシリーズ、森のデュラに代表されるコストパフォーマンスの高い機械を提案しています。

これらが各社の起爆剤になると思います。

高桑：金型業界向けに大型機を扱っていますがメーカーが需要に応えきれていません。メーカー側もバブルの頃のように大增産している訳ではなく、客先にとっては問題かもしれませんが、業界にとっては良い意味で市場の先送りになっています。

もうひとつ日工会も力をいれている税制改革が来年には実現しそうで、設備機械の入れ替えにインパクトがありそうで短期的には追い風となり良い流れになりそうです。

中長期的には、欧米から大分機械が入っている世界No.1の中国市場に、まずは我々商社が先頭に立って向き合い販売して行く事で明るい見通しが立てられると思います。

司会：中国に良い機械がどんどん行き生産性が上がって行くと、日本での仕事を取られていき痛し痒しと言うことになりますが、これも流れであり新しい仕事を創って行く事が大切でしょうね。インドもしかりと思います。

渋谷：売り上げの6割を占めるのが自動車なので今期は苦戦していますが、来期は具体化しそうな案件があり、来期は期待が持てる。

残りの4割がIT関連、建設機械、印刷機械等で、今期は多少良い業界なので自動車関連の落ち込みをこの好調な業界でどうやってバランスをとるかが課題であり、こうした状況からこのJIMTOFが折り返しになっている。

IT業界向けについて お聞かせ下さい

司会：JIMTOF後について皆様のお話を頂いたのですが、それぞれの仕事の中身によって違いがあるかも知れませんが、まだまだ行けるということですね。ところであまりお話がでなかったIT業界向けはどうでしょうか。

田尻：半導体を含めたIT技術の進歩は目覚ましいものがあって、それに対応していろいろな加工技術が我々の扱っている機械に跳ね返ってきています。それが見えないところで大きく貢献しており、例えば真空ポンプの加工が飛躍的に伸びており、半導体関連ではないところで需要が伸びています。情報関連では超精密加工分野、ナノ加工分野の市場はまだまだ小さいですが、JIMTOFには関連機械が展示されており、新しい市場が広がっていくと思います。先ほどお話があった医療分野も含めて販売商社として勉強していかなければならない分野であると思います。

司会：日本の工作機械の6割以上が自動車に依存していると言われていたのですが、自動車のエンジンそのものが数年先には変わってくると言われ、大きな部品加工が少なくなり微細加工分野が広がる可能性もあり、医療分野でも微細加工が求められています。そういう意味では無限に工作機械のニーズがあり、メーカーも技術開発を推し進めています。自ら市場をクリエートして行けばJIMTOFの効果は一段と上がって行くと思います。

それでは話題を変えて、今後の見本市はどうあって欲しいか、ご意見を最後に伺ってこの座談会を終了にしたいと思います。

JIMTOF 2006

今後、展示会はどうあって欲しい
ですか？

花里：今回学生が多く見られました。

次の世代を担う若者がこの業界に興味を持ち希望を持ってくれるような働きかけをすることは良いと事だと思いますし、今後も続けて欲しいですね。

司会：学生は無料とし広く門戸を開いていますが、狙いはこの業界の存在価値を認識してもらい、業界に優秀な学生に来てもらいたいという事です。

そのためには実際に工作機械を見て、それが大切な産業であると理解してもらいたい訳です。

製造業のみならず販売業も同様に優秀な若い人達がこの業界により多く入ってきて、日本の基幹産業である工作機械業界で働いて欲しいですね。あと言い残した事はありますか。

曾田：外国の展示会ではバリ取りのガラまで出品されていますが、見せるところが多種多彩です。見せる幅を広げる必要があると思います。

司会：主催者は一般の企業にも門戸を開いていますが、現実にはビッグサイトのスペースに限界があり、各工業会の会員の申し込みスペースをどう収めていくかに苦慮しているのが実情です。

河合：お客さんのご意見でもありますが、これだけの展示会であるのでメーカー単独の展示ではなく、メーカーの垣根を越えてこう言った事が出来ると紹介する専門のブース、例えば、一つのワークに対してこのような事が出来るという旋盤、マシニングセンタ、搬送機、洗浄機などいろいろなメーカーが集まった専門のブース

が出来ると夢を与えることになります。

いわゆる、ソリューション展示館の実現に期待しています。

相羽：間違いなく材料の変化も出てきますので、材料変化に対応した何か加工方法を変えた将来の夢になるようなことを出して欲しいですね。それが次の時代に繋がると思います。

司会：経済産業省は未来産業に対する技術開発ということで音頭をとって、いろいろな形で研究を投げかけています。数年後には皆さんの前に成果が出てくることを期待したいですね。

未来に対するご提案もありましたので、この辺でお開きにしたいと思います。

おわりに...

田尻：皆さん本日はお忙しい中、有難うございました。

調査広報委員会としては今回の貴重なお話を新しい切り口として考えて行きたいと思っています。おそらく2008年頃までは我々を取り巻く環境は比較的順風満帆のように思われます。新商品がない、目玉商品がないとも言われていますが、メーカーは進歩した要素技術をしっかりと取り入れた製品を生み出しています。我々も取り残されないように勉強していかねばならないと思います。

これからの若手の人材教育、育成は必要なことであり、販社の機能を発揮して、人づくり、夢づくりを我々がつくっていかねばならないと思います。

JIMTOFもまだ1日を残していますので皆さんには更に頑張ってください、成果を挙げられるよう願っています。

本日は長時間ありがとうございました。



JIMTOF 2006

JIMTOF 2006 印象記

“ JIMTOF2006 私の印象 ”

(株)テクノワシノ 取締役販売統括 久 家 満

今回のJIMTOFは産業界の継続的な好況を背景にして、当社ブース内にも多くの来場者がありました。活況を呈した2004年をさらに上回ることは当社としても折り込み済で前回比150%という強気な受付目標を掲げましたが、結果はそれをも上回る160%という、まさに空前の盛況でありました。

テクノワシノは、「提案力」をテーマに旋盤・研削盤両製品群に渡って高機能・高生産性加工を実現する様々なタイプの自動化セルを出展しました。新製品として、2スピンドル旋盤「JJ-3」AA-1」、CNCロータリー研削盤「SSR-5」を発表し、また多工程もしくは複合加工をこなしながらさらに自動計測まで行う自己完結型仕様のラインナップはニーズにマッチした来場者の関心を引きつけ、手のひらサイズ加工市場での差別化・優位性を大いに強調できました。また、環境機器事業における工場環境改善提案も同時に手がける唯一の工作機械メーカーであることをアピールし、また技能五輪入賞者による加工実演に普通旋盤を提供するなど多岐に渡って当社の存在感を示すことが出来たと自負しています。

当社のみならず全般にわたって受付数は軒並み増加していることと推察しますが、中でも特徴的だったのは海外、特に中国・台湾・韓国・インドからの来場者が非常に多くなったことです。数年前から徐々に増加していたものの、今回で一気に噴いた感があります。アジア諸国のローカル・ユーザーが着実に地力をつけていることの証明であり、受付データを精緻に分析して同方面の販売施策を今一度練り直す必要を痛感しました。

また、出展機の傾向として「未来の技術」「夢の機械」といった謳い文句は少なくなり、より実践的な即使える機械が並んでいたことを実感しました。行き交う来場者には見学に来たというより「買いに来た」という空気を強く感じ、特に当社が関わる小物部品においてはワンチャック・フィニッシュまたは複合加工への関心が非常に高く、それに呼応するように搬送・計測の自動化への機運が必然的に湧き上がって来ています。出展者もユーザーも、今この瞬間に売れるまたは買える(=使える)機械を模索しているようでありました。

最後に、今回は学生向けのイベントが多く開催されたようですが来場数としてはあまり多くなかったように思われます。若い力にもっとモノづくりへ関心を寄せてもらうため、主催者だけでなく出展者も一体となって盛り上げていくことが肝要であると感じました。



JIMTOF 2006

“ JIMTOF2006 私の印象 ”

(株)日平トヤマ 標準開発部開発課 谷 崎 啓



今回のJIMTOFでは、前回のキーワード「複合化」「微細精密」がより具体的に各工作機械メーカーより提案されていたと感じる。また、それ以前から続いてきた主軸、送り軸の高加速度、高速化への取り組みが落ち着き、どの工作機械もスペック上はメーカー間での差がなくなっているのも今展示会の特徴であったと思う。

1. 複合化

2年前に増して複合加工機を紹介するブースが多かった。従来からある、旋盤加工機からの発展、5軸ミーリング加工機からの発展だけでなく、切削加工機に非切削加工を加えるなど多種多様な加工機が増えている。加工工程を集約することで、設備の設置面積と段取り換え等に必要とされてきた時間をなくすことで大幅なコストダウンにつながる。この種の加工機は今後も増えていくと思われる。ただし複合加工機になった場合に制御軸数が増え操作が複雑になることも考えられる。加工機自身での干渉防止機能の充実に加えて作業者が扱いやすく考えることが必要になる。

複合加工機を構成する技術要素としてダイレクトドライブモータの採用が目立った。弊社でも、チルト軸、インデックス軸にダイレクトドライブモータを採用し参考出展した。非加工時間の短縮を目的に、弊社の専用機を含め量産加工ラインでも今後使用されていくと考えている。

2. 微細精密加工

金型加工を含め、超精密、微細加工を狙った工作機械が今回も数多く展示されていた。精度的にはサブミクロンオーダが狙いになる領域であり、リニアモータ、精密小リードボールネジと高分解能のリニアスケールの採用でこの二年間で一番発展した分野ではないだろうか？ 弊社の出展機、超精密マシニングセンター「Z μ 3500」は、微細精密加工を実現するために従来精密研削盤への技術であった静圧案内面とリニアモータ駆動を使用している。ミーリング加工機のコンタリング加工精度を向上させることで、小さなものだけでなく、比較的大きな加工対象物に対しても高精度な加工が簡単に実現できる。ただし、多種多様な材料、形状、必要精度に対応していくためには、機械の精度だけでなく刃物、制御、加工パス、測定機器の組み合わせが不可欠でありこれまで以上に協力して技術向上に努めていく必要がある。

「複合化」「微細精密」だけでなく、今展示会でたくさんの方に新しい可能性へのご意見を頂いた。お客様が望んでおられる物、安心して使用していただける物を今後もご提供できるように努力していきたい。



Z μ 3500

JIMTOF 2006

“ JIMTOF2006印象記 ”

(株)ナガセインテグレックス 取締役社長 長瀬 幸泰



いざなぎ景気をも上まわろうかという好況が続く工作機械製造各社は日々、受注対応に追われる毎日であることは容易に推測される。事前の予想通りJIMTOF2006は盛況を極め、来場者の入場に数時間を要したとの噂も聞いた。

そのような状況下で、各社とも展示会機の開発、製造に潤沢な時間と人員を費やす余裕はなかなか見いだすことが出来なかったように感じた。従って技術開発の方向性は前回のJIMTOFの流れを踏襲し、改良を加え完成度を高めたマシン及び、システムが多かったように思う。私は自社ブースを空けることがほとんど出来なかった為、ほんの数時間の見学となったが、複合化、微細化(ナノ加工機)、多軸化(5軸加工機等)の傾向を感じた。

複合化は異なった刃物を1台のマシンで使用し、従来のマシンのカテゴリーをボーダーレス化したマシン。全く新たな要素技術をマシン内に付加して新しいカテゴリーを創出したマシン。加工と機上計測等の異なった機能を1台のマシンに統合したマシンに大別される。微細化は最小分解能を10nmや1nmに設定したマシンが前回より増えていたように感じた。多軸化は5軸加工機に代表されるマシンが随分充実していたように感じた。

更に、これらのマシンの開発に際して、静圧摺動構造と、リニアモーターの採用が一段と進んだ。このようなトレンドの中でナガセインテグレックスは「機上計測と超超精密加工機による究極の加工結果」を展示した。長尺物の超精密加工に対しては、新開発の真直度計測システムと超精密平面研削加工機



(SGC-154SSLS2-PCNC)を提案した。真直度計測システムは「逐次3点法」とマスターゲージの補正に「改良反転法」を採用し、1m以上の長尺加工物でも機上でサブミクロンの精度で計測が可能である。非球面形状の超超精密加工に対しては1nm分解能のN2C-53U-PCNCに新開発超精密インデックステーブル(割台精度 ± 0.15 秒)と干渉計を搭載したマシンを展示し、光学レンズの加工例を展示した。どちらも多面拘束油静圧技術とリニアモーター化が有効に採用されている。いずれもマシンの絶対運動性能と繰り返しの再現性、マシン剛性が活かされるシステムの提案である。超精密化のトレンドの中で表面的な商品アピールではなく地道に超精密加工に取り組むことが重要であると感じている。

そんななか、派手さは無いが真面目に小物の超精密加工に取り組んでいるメーカーがムアグループのナノテク社であると感じた。剛性 $350\text{N}/\mu\text{m}$ の油静圧摺動面で1nm分解能のマシンである。天然グラファイトをマシンの構造物に採用している。研削と切削に対応しており、1nmの面粗さと $0.1\mu\text{m}$ 以下の形状精度を可能にしている。今後もこのようなメーカーと総合的にコラボレーションをしてお客様のご満足のための商品開発をしていきたいと思っている。

JIMTOF 2006

“ 学生に夢と希望を ”

三菱マテリアルツールズ(株) 営業企画部長 金子善昭



はじめにJIMTOF2006の成功に対する慶びと合わせて主催者事務局並びに各業界関係者のご尽力に対して心から感謝と御礼を申し上げます。折角の機会を頂いたのでJIMTOF2006に対する印象と自分なりに思った事を述べさせて頂きたいと思う。

まずは各社ブースを回っての印象だが、工作機械においては最近の加工トレンドの象徴である変種変量とそれに伴う工程の大幅集約に応えた5軸加工機や複合加工機など、多機能且つ高機能な製品が数多く出品されており、特にナノレベルの微細加工に対応した超精密加工機が各社競い合う様に展示されていたのは驚きであり、新たな需要を生み出す積極的な挑戦であると感じた。関連機器においても同様に高精度、省力化、環境対策などの新技術が目白押しであり技術革新の早さを痛感した。さて、我々切削工具ブースについては自動車、金型はもとより、急成長する航空機産業など業種別に特化した展示が多く、エンジン、ミッション等実物モデルとそれに対応した工具を積極的に展示することで技術水準の高さを誇示していた。材種面では難削材やCFRPなど複合材に対応したCBNやDLCなど画期的な製品が出品され、工具についても加工能率UPの為の多機能、高能率工具や環境対策に配慮したドライ加工用工具など数多く出展されていた。中でも各社が鎚を削るのは微細加工用の極小工具であり、極限までの径を競い合うエンドミルやドリルの展示には来場した多くのユーザーの目を釘付けにしていた。

さて、全体を通しての感想であるが、今回は好景気に支えられ、しかも最大規模での開催とあって各社の出展に向けた意気込みは相当のものであったに違いない。しかしながら一方では技術競争に走り過ぎて需要も把握しないまま開発のみ先行している製品もあった様に思う。もちろん時代を先取りした新製品開発は重要である事は申すまでも無いが、それ以上に大切な事は安定供給と品質保証であり、それこそが顧客の生産性向上に貢献し信頼を勝ち得る第一条件ではないかと改めて感じる機会でもあった。

今年に来場者の中に数多くの学生を見かけた。当社のブースにも沢山の学生が訪れ、溢れる新製品を前に目を輝かせていた。中には『予算が足りなくて研究に必要な工具の購入が出来ずに困っている。サンプルの提供をしてもらえないか?』と真剣に頼んでくる学生までいた。聞けば産学一体となった若者育成強化への新たな取り組みが背景にあっての成果の様であるが、いずれにしても最近のIT業種を中心とした実体の見えない業界が持てはやされる中であって、産業の源である我々の業界に興味を示してくれる学生が一人でも多く増える事は喜ばしい限りである。最後になるが2年後のJIMTOF2008が再び元気良く開催され、多くの学生に夢と希望を与えられる様、微力ではあるが努力したいと思う。



朝の挨拶

ワシノ商事(株)

専務取締役

渡 邊 昭 夫

私の朝は午前4時半から5時の起床で始まり、身支度を終えると1時間掛け(休日は1時間半コース)、五条川の岸辺を早足でウォーキングする日課になっています。

私の住まいは愛知県岩倉市といって今年の大河ドラマ「功名が辻」の主人公、山内一豊公の生誕地であり、名鉄電車で名古屋まで15分と便利な場所で、名古屋のベットタウンとして、また織田信長の本家が所領していた古い町としても知られています。其処を流れる五条川の畔には「日本の桜百選」に選ばれた桜が植えられています。岩倉市内だけでも約6~7キロメートルにわたり兩岸を埋め尽くし、春には見事な桜の帯となって咲き誇ります。上流の江南市、大口町から犬山市に至る水源地の入鹿池まで15キロメートル程桜並木が続いています。五条川には鯉を始め多くの川魚が生息しており、それらを狙って川鵜、白鷺、鴨などの野鳥が季節毎に姿を現すという自然環境に恵まれた所です。この川には私が歩く1時間半のコースの中に22本の橋が架かっており、いいペース配分の目安となっています。

私のウォーキングは世の中高年と同様、日頃の不摂生を解消?するのが目的で10年以上続けています。お陰で大した病気も思わず、毎晩の晩酌も美味しく飲むことが出来ます。早朝のウォーキングにもかわからず、夏場で毎日50人、冬場でも30人程とすれ違い、対面する人々に、私が「お早うございます」と挨拶しますと、「お早うございます」と挨拶が返ってきます。以前は、私の声掛けに対して聞こえない振りをしたり、黙って素通りしたりする人が1~2割はみえ、こちらが挨拶しているのに失礼な!と憤慨したことがあります。しかし、ある時から、その非は自分にあるのだと気づき、もっと「大きな声」で「笑顔」を忘れず相手の「目」を見て挨拶しなければと思い実行してみました。すると最初は照れたような反応の方も今では声を出して挨拶を返して頂けるようになりました。まだ3~4名の方とはうまくコミュニケーションができず、挨拶を交わせない時がありますが、相手の無反応はそのまま努力が足りない自分の姿を映している様なもので、私にとってよいバロメーターの役割を果たしてくれています。

この頃、世間ではやたら物騒な事件が頻発しており、この岩倉でも夜道の一人歩きの「危険」な地域が出来てしまい、町内会の有志が防犯パトロール隊を組織し、毎夜見廻りをされております。いやな世の中になってしまいましたが、この様な「お早うございます」の輪が広がり、地域の人達に連帯感が生まれ、皆が清々しい気持ちで一日が始められる事になれば、安心して住める町がつかれるのでは?と思い、「たかが挨拶」されど挨拶「全ての人と挨拶が出来、お互いの心が通う日が来ることを信じ、日々新たな気持ちで挨拶を繰り返す毎日です。

分かりやすい話題の技術

No.94

門形五面加工機MVRシリーズ 完全ドライカットホブ盤GEシリーズ のご紹介



三菱重工業(株)
工作機械事業部
営業部課長代理
境 弘 明

平成18年10月25日(水)より11月11日(土)までの18日間、東京ビッグサイトで開催された「第23回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2006)」の設営・会期・撤去作業に従事した。1988年より18年間常にJIMTOFに従事してきたが当時の6万人規模から、現在の東京ビッグサイトでの15万人規模まで拡大し、海外を含めて会場を埋め尽くすお客様の中で幕を閉じた。

太閤秀吉の辞世の句に例えれば「…有明のことも夢のまた夢」を彷彿させる瞬く間の時と思えた。

デスクに戻り本稿の執筆に取り掛かると妙案は浮かばない。代わりに浮かびついたのは期間中に展示2機種の実演時間帯に発生した人の波。この稿では展示会場で人波を作った弊社のベストセラー商品2機種をご紹介させていただくことにしたい。

「門形五面加工機MVRシリーズ」(大形工作機械ラインナップ写真参照)

MVR25から45まで5タイプをシリーズ化しており、2002年6月に発売以来、420台の受注実績を誇るベストセラー機。

お客様ニーズの「重切削と高速動作で加工時間を短縮しコストダウン」に貢献する高出力・高速・高精度五面加工機として好評を得ている。主なお客様の採用実績をご紹介しますと、ブーム・アームなどの建設機械部品加工で高い生産性を発揮。チャンパをはじめとする液晶部品加工では高精度加工に威力を発揮。航空機部品加工では高い生産性を実証するなど幅広い分野で採用されている。

操作性にも優れておりクロスレールの任意位置決め可能(サドル位置も自由)・プログラムが簡単な五

面加工ソフトを標準装備し、さらにメンテナンス機器の集中配置・テーブル側面のコイルコンベア標準装備するなど簡単メンテナンス設計しているのも強み。

最小門幅のMVR25(展示機)でハイパワー・ハイスピード仕様を紹介する。

主軸は22/30kW(連続/30分定格) 主軸径 110mm・トルク650Nm。高速早送り30m/min¹(X & Y軸) 高速ATC5sec、高速AAC30sec。

正に速さと強さを両立させたマシンである。

門形五面加工機MVRシリーズ主仕様

項目	単位	MVR25	MVR30	MVR35	MVR40	MVR45
コラム内門幅	mm	2,050	2,550	3,250	3,750	4,250
テーブル幅	mm	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500

「完全ドライカットホブ盤GEシリーズ」(歯車加工トータルシステム写真参照)

GE15・20・25の3タイプをシリーズ化しており、2002年10月に発売以来、400台の受注実績を誇るベストセラー機。お客様ニーズの「環境対策として生産現場から切削油剤を無くし、大物歯車もバリバリ加工し加工時間短縮・コストダウン」に貢献する歯車加工機として好評を得ている。

機械本体・周辺装置・搬送装置のモジュール化設計により容易なライン構成に対応しているのも強み。さらに加工空間の完全密閉化・機内カバーによる切粉堆積防止の万全な切粉対策、またグラフィック画面により操作性・メンテ性にも優れている。

最上位機種であるGE25(展示機)によりハイパワー・ハイスピード仕様を紹介する。220mmの乗用車用ディファレンシャルギヤ(材質SCM415)をスーパードライホブ「工具との組合せでサイクルタイム0.7分の高速加工を実現し、しかも歯筋精度が安定しているのが最大の特長。

完全ドライカットホブ盤GEシリーズ主仕様

項目	単位	GE15	GE20	GE25
ワーク最大径	mm	150	200	250
最大モジュール		4	6	6

両機種共に今後も好評を得る機械であると自負していますが、販売代理店の皆様方よりお客様には是非ご紹介いただければ幸いです。

詳細なお問い合わせは三菱重工・工作機械グループへお願い致します。

ホームページアドレス <http://www.mhi.co.jp/kousaku/>

大形工作機械ラインナップの説明(会場に展示した説明パネル)

上段2機種は門形機シリーズ(左は350mm角ラムのMVRシリーズ、右は400mm角ラムのM-VR・Dシリーズ)下段2機種は横中ぐりフライスシリーズ(左はテーブル形のHTシリーズ、右はフロア形のMAFシリーズ)をラインナップしている。



歯車加工機械のトータルシステムの説明(会場に展示した説明パネル)

左側にお客様ニーズを記載。中央に展示機であるホブ盤からギヤシェーパ・シェーピング盤、右側に歯車研削盤までのトータルシステムを提供ラインナップしている。



「大地の咆哮」 杉本信行著(元上海総領事が見た中国)

PHP研究所版



山下機械(株)
取締役会長

山下隆蔵

今年6月、抗がん剤の投与で朦朧とするあたまで、パソコンに向かい、痛みを薬で抑えながら脱稿したというこの作品は、まもなく訪れる死を意識して著者が怒涛のように吐き出した中国の現実体験記である。こんなことを書いてはと躊躇する暇もなく、いまさら不都合が自分には及ぶ心配もないとして、ありのままに書き終えた清しさが読む人にストレートに伝わってくる。総領事といえば一国の外交官の現地の最高責任者である。通常分かっているその国にとって不名誉な賄賂の横行に何の遠慮もなく触れることはしないはずであるが、ここでは堂々とそれを指摘し、中国世界の赤裸々な姿が簡潔明快な文章で報知されている。前書きで著者は「この国を知るには、各種データや観念的な理論で見てはならない。現実、現場を自分の目で見ること以外にほんものの理解は得られない」としている。そして、「支配層だけではなく13億人の民、とりわけ、いまだ封建時代のような身分制度をおしつけられている9億以上の農民の現状を直視することが大切だ」としている。そして、指導部の最大の関心事も内部の不満のガス抜きで、攻撃的とも見える対外政策も国内の不安定さゆえと言う面があり、「三農問題(農村の貧困、農民の苦難、農業の不振)は少しも解決されておらず、ますます深刻度を深めているという。また、中国の産業の急激な拡大にとって最大の隘路となっている水資源問題にふれ、警告を発している。元々中国の降雨量が日本の4割しかなく、耕地の2/3がある北部は更に雨量が少なく、樹木も少なく保水力がないため夏に折角降った雨も洪水で流れてしまう。近年、黄河の「断流問題」が深刻であると。上流の3,000を越すダムからの取水で水枯れが激しく、下流域にもはや水が流れていない。

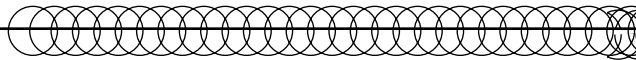
北京の水源は密雲ダムだがその取水量はかつての1/6に減り、後は地下水にたよっている。

全土で地下水をくみ上げるため、水位が年に2~3mも下がり続け08年には完全に枯渇すると警告している。

後半では一部の沿岸部の大都市住民4億人と農村部に住む9億人の格差について、現実を見事に抉り出している。戸籍法では、都市住民と農村の行政職役人は「城鎮戸口」、農民は「農村戸口」を持つ。農民は土地の使用権を持つが、一切の行政サービス(年金、医療保険、失業保険生活保障など)を受けられず、また、農民が都市戸籍を得ることは容易ではない。都市と農村の所得格差は統計的には3倍程度と公表されているが、実質的格差は30倍ともいわれている。農業税は平年の収穫高の15.5%とされているが、そのほかに住宅税、屠殺税、五統三提(教育費、軍人慰労費、民兵訓練費、道路建設費、出産管理費、公的積立金、公益金、行政管理費)のほか制度外に取り立てる地方役人の暴挙が目立つ。

中国の農村には日本のような農協のような農民の利益集団はなく、搾取された農民と悪質地方役人の間で一触即発の緊張感が耐えないと。

多くの中国に関する本が書店に氾濫するなかで、専門家にあらずして100%理解可能なこの本を読んで、幾人かの中国通友人が口をそろえて評価している。



SE講座・更新研修集合教育実施報告

平成18年度SE講座集合教育は、本年も下記日程で東京・名古屋で開催されました。

東京：10月12・13・13日(木金土) 名古屋：10月19・20・21日(木金土)

受講者は東京107名、名古屋121名の延べ228名で、景気の堅調さを反映して昨年に引き続きさらに大幅な増加となりました。そのため開講場所が日々変わり、受講者には大変ご不便をかけ申し訳ありませんでした。一部講師の都合により時間割の入れ替えがありました。講義構成は昨年と同じで、全容は下記の通りです。

集合教育カリキュラム

第1日	第2日	第3日
(開講のあいさつ) 工作機械産業の動向 図面・加工法・切削理論 テスト・アンケート 品質・規格・測定機 問題解決法と提案営業 テスト・アンケート	切削・研削機械の動向 NCの動向 テスト・アンケート 生産システムと情報技術 ロボット技術 特殊加工 放電・レーザー・電子ビーム テスト・アンケート	金型と加工機械 テスト・アンケート 販売実務・法律知識 塑性加工の動向と 最近のプレス機械 テスト・アンケート

集合教育を受講された方々全員が、11月より始まった通信教育を全て履修されて日工販SE資格を取得されるよう期待します。

更新研修集合教育は下記日程で開催され、名古屋27名、東京29名、総計56名の方が受講されました。

名古屋：11月14日(火) 東京：11月17日(金)

昨年と同じ講師により実施しましたが、講義内容を一部変更して、より最新の情報を織り込んだ講師もおられました。

必修専門講座カリキュラム

開講挨拶・オリエンテーション 投資効果についての考え方 生産技術について 有機EL等フラットパネルディスプレイ(FPD)とそれらの製造設備について 工作機械業界の商品開発・売れ筋動向及び急拡大する中国の工作機械市場 テスト・アンケート
--

SE講座・更新研修集合講座で講義をしてくださいました講師の方々をはじめ、ご協力をいただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。



日工販SE合格者 第137回発表

今回は10・11月の合格者33名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
06-15-1811	(株)兼松 K G K	道広 泰介	06-15-1828	(株)京 二	茂木 浩幸
06-15-1812	サンコー商事(株)	舌古 淳二	06-15-1829	サンコー商事(株)	鹿角 正隆
06-15-1813	サンコー商事(株)	不破 辰雄	06-15-1830	サンコー商事(株)	大澤 友志
06-15-1814	サンコー商事(株)	後藤 宏佐	06-15-1831	サンコー商事(株)	松丸三四郎
06-15-1815	(株)東 陽	岩柿 忠典	06-15-1832	サンコー商事(株)	石川 晴久
06-15-1816	宮脇機械プラント(株)	中村宗一郎	06-15-1833	(株)大 成	鳥海 和雅
06-15-1817	(株)テクノワシノ	斉藤 弘之	06-15-1834	ワシノ商事(株)	山崎 大我
06-15-1818	(株)森精機製作所	前澤 修	06-15-1835	(株)山 善	白井 一彰
06-15-1819	(株)森精機製作所	山中 清光	06-15-1836	UFJセントラルリース(株)	佐藤竜太郎
06-15-1820	(株)森精機製作所	高山 岳	06-15-1837	UFJセントラルリース(株)	高田 一平
06-15-1821	(株)森精機製作所	保富 一人	06-15-1838	UFJセントラルリース(株)	山本 佳宏
06-15-1822	UFJセントラルリース(株)	福島 昭利	06-15-1839	UFJセントラルリース(株)	石田 豪
06-15-1823	UFJセントラルリース(株)	町田 洋一	06-15-1840	住商リース(株)	滝沢 栄一
06-15-1824	山田マシンツール(株)	岩瀬 光	06-15-1841	三共精機(株)	藤田 将澄
06-15-1825	菱光商事(株)	奥村 保彦	06-16-1842	(株)東 陽	古澤 嘉崇
06-13-1826	サンコー商事(株)	勝矢 了一	06-16-1843	メルダシステムエンジニアリング(株)	木村 涉
06-15-1827	ユアサ商事(株)	坂田 貴弘			

更新研修合格者 第88回発表

今回は10・11月の合格者24名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
06-9R-1122	(株)兼松 K G K	黒瀬 聡	06-11R-0676	(株)東 陽	井手 光征
06-10R-1386	(株)旭商工社	松村健太郎	06-11R-1149	(株)東 陽	青木 直人
06-10R-1405	(株)旭商工社	石川 孝	06-11R-1013	(株)東 陽	吉田 光明
06-10R-1433	(株)旭商工社	種田 充男	06-11R-1342	三菱電機クレジット(株)	伊東 功
06-10R-1382	(株)トーマテクノソリューションズ	白倉 周治	06-11R-1343	三菱電機クレジット(株)	我妻 忠義
06-10R-1036	三菱商事テクノス(株)	阿部 進	06-11R-1344	三菱電機クレジット(株)	船田 浩久
06-10R-1166	住商リース(株)	貴船 和之	06-11R-1492	三菱電機クレジット(株)	小松 英治
06-11R-1385	(株)旭商工社	佐藤 範洋	06-11R-1401	三菱電機クレジット(株)	松本 龍治
06-11R-1302	(株)兼松 K G K	山本 雅樹	06-11R-1458	三菱電機クレジット(株)	松永 朋巳
06-11R-1387	(株)兼松 K G K	原 信行	06-11R-1459	三菱電機クレジット(株)	矢田 哲也
06-11R-1442	サンコー商事(株)	秀澤 一憲	06-11R-1460	三菱電機クレジット(株)	森 基佳
06-11R-0480	(株)東 陽	浅井 宏	06-11R-1146	(株)富士機工	藤森 淳也

議事録から

第69回 政策委員会

日時：11月15日(水)11:00～12:00
場所：大阪/大阪産業創造館 6階会議室D
出席者：石川委員長、委員5名、事務局2名

委員長挨拶：

JIMTOF来場者は15万人を越えて実のある展示会であった。

日工会発表の10月受注速報は49ヵ月連続前年同月比プラスを続けているが、内需が落ちている。

産業機械受注統計でも7月～9月は前年同期比10%マイナスと最大の落ち込みであり、景気はあがるという状況ではないとみられるが、JIMTOFの刈り取りに努力して頑張りたい。

議事：

(1) 協会PR用パンフレット、会員工作機械営業員リクルート用DVD制作のこと

専務理事より、前回理事会での議論を背景に、田尻調査広報委員長の提案により広告エージェントと打ち合わせの結果入手したたたき台としての企画書の説明があり、パンフレットは協会の紹介用に作りたいが、DVDは業者に依頼すると費用が相当かかるとのことで、会員にとって本当に役立つものができるのか、費用対効果を含め、本案件を進めるか否かを検討してほしい旨提言があり、検討の結果、英文表示を含めた協会PR用パンフレットと、工作機械販売員の実態を理解させるDVDがあれば有効に活用できるので、理事会に諮ることにした。

(2) 日刊工業新聞社主催「2007自動車部品生産システム展」協賛のこと
審議の結果理事会に諮り承認を得ることにした。

(3) 名古屋国際見本市委員会主催「メカトロテックジャパン2007」協賛のこと
審議の結果理事会に諮り承認を得ることにした。

(4) その他
インターネットの件
専務理事より、インターネット委員会からの提案説明あり、理事会に提案することにした。
・掲載情報増加に対応しホームページ容量を30メガバイトより50メガバイトに変更。
・過去2年以前の日工販ニュースPDFファイルの掲載削除。
・活用されていない掲示板のページ削除
19年度総会記念講演講師の件
一橋大学院商業研究科教授関満博教授の講演内諾があり、理事会に報告することにした。

次回委員会：

平成19年3月7日(水) 13:20～14:50
大阪/大阪産業創造館

第207回 定例理事会

日 時：11月15日(水)12:30～15:00

場 所：大阪/大阪産業創造館 6階会議室D

出席者：石川会長、副会長2名、専務理事、

理事11名、監事1名、事務局2名

会長挨拶：

JIMTOFも15万人以上が来場し盛況のうちに終了し、これで工作機械関係の大きな行事は終了した気がする。日工会発表の10月受注は1,166億円で、このまま続くと'90年のバブル時の受注を超えて暦年の最高額に達することになる。一方、産業機械統計では11.1%と最大の落ち込みである。GDPはマイナスの予想があったにも拘らず4月～9月で年率2%の成長になるといっている。どっちに景気が振れるのかわからない状況である。見本市の商談を確実なものにして、しばらく様子を見て、次の時代にそなえたい。いざなぎ景気超えは確実に上がったが、海外では北朝鮮の核開発、イラク問題、米国選挙の共和党の敗北、一方日本では教科未履修問題、いじめ自殺問題と世相はよくない。当会はなんとか新しいよい年を迎えられるよう頑張っていきたい。

議 題：

[付議事項]

(1)日工販上期収支のこと

専務理事より4月～9月実績及び10月実績までの収支を報告。会計士の監査を受け帳票類、帳簿、現金、預貯金残高等すべてを調べていただき、問題はない旨の確認を得たので、その旨監事に報告した。

一般会計収入は会費の一部が未入金であるが、ほぼ予算通り。支出は下期に大口出費のある事業が残っていて事業費予算を残している

が、今までのところは順調に推移している。

教育事業特別会計の収入は予算に対し受講者増により大幅に増えている。受講者が増えた分だけ支出は予算対比若干増加する。未払い費用があり収支は確定していないが、最終的には大幅な黒字が見込まれる。以上の報告により、上期収支は了承された。

(2)日刊工業新聞社主催「2007自動車部品生産システム展」協賛のこと

平成19年6月13日(水)～16日(土)東京ビッグサイトで開催。前回も協賛。日工会等の各工業会が協賛団体に名を連ねるが、販売団体は当協会のみ。負担は一切なし。審議の結果全員の賛成を得て承認された。

(3)名古屋国際見本市委員会主催「メカトロテックジャパン2007」協賛のこと

平成19年10月17日(水)～20日(土)ポートメッセなごやで開催。従来から協賛している。共催はニュースダイジェスト社、愛知県機械工具商業協同組合。協賛は日工会等の工業会他。負担は一切なし。審議の結果全員の賛成を得て承認された。

(4)その他

インターネット委員会からの日工販ホームページに関する提案

1)掲載情報増加に対応しホームページ容量を30メガバイトより50メガバイトに変更。

2)過去2年以前の「日工販ニュース」バックナンバーのPDFファイルの掲載削除。

3)活用されていない掲示板のページの削除。

審議の結果、上記3案は承認された。

政策委員会提案

- 1) 外部に対する協会PR用パンフレット(要約の英文併記)作成の件
- 2) 正会員用リクルート用DVD作成の件
 広告企画業者より入手したプレゼン内容及び愛知県機械工具商業協同組合で作成DVDを参考にし、討議の結果、英文を一部併記し海外向けにも活用出来るように4ページ程度にまとめた協会パンフレットの企画案を更に煮詰め、学生から見て魅力あるシナリオをベースとしたリクルート用DVD企画原案を、来年のリクルートに間に合うように調査広報委員会でとりまとめ理事会で諮ることとした。

「報告事項」

(1) 流通動態調査平成18年9月結果

専務理事より説明。9月の受注高は期末効果のある3月を除き近年最高になり、前年同月比増は下降気味ではあるが4.2%のプラスを保っている。9月売上は前年対比10.8%増と堅調である。四半期ごとの受注推移を見ると、2006年第3四半期まで前年同期比はプラスではあるが徐々にプラス幅を縮めており、今後更に伸び続けるとは考えられない。日工会の本年の受注累計は総額では昨年対比6.3%増であるが、内需は昨年比減少している。10月には1999年12月以来初めて外需が内需を上回った。このまま内需のみに頼ると減少していくことになりそうである。

(2) 委員会報告

調査広報：専務理事報告。9/26委員会(日工販ニュース10月号参照)。11/7JIMTOF座談会開催。東京ビッグサイト会議棟602号室。委員長、専務理事、正会員部長クラス6名、計8名プラス事務局2名計10名。

西部地区：10/3製品研修会。JIMTOF出品機の説明。メーカー6社参加。大阪産業創造館71名

参加。10/17懇親ゴルフ会、センチュリー吉川ゴルフ倶楽部、17名参加。

中部地区：10/11製品研修会、メーカー5社参加。売れ筋30番主軸のマシニングセンタの説明会、名古屋ダイヤビルディング82名参加。

教育：専務理事報告。SE講座：東京10/12～14仏教伝道センター他、107名受講。名古屋10/19～21、サンブラザシーズンズ他、121名受講。更新研修：名古屋11/14サンブラザシーズンズ、27名受講。東京11/17仏教伝道センター、30名受講予定。

東部地区：11/11懇親ゴルフ会、雨が強くハーフで中止、龍ヶ崎カントリー倶楽部、12名参加。

(3) JIMTOF2006入場登録最終報告

専務理事より報告。17社で2,120枚購入。

今回は個人情報管理の関係で入場申込者が個別にインターネット・FAXで登録し、入場券が葉書で送付された。事前登録をしないと当日入場登録に時間をとられた。次回も同様の方式と思われるので、事前登録の徹底を図る必要がある。

日工販団体PL保険制度について

19年1月よりのPL保険の募集中。期限内の申し込み手続を依頼。

来年度通常総会開催時(6月6日)の記念講演講師のこと

一橋大学院教授 関満博氏(中小企業振興、中国問題)に交渉の結果、内諾を得た旨、羽賀理事より報告があり全員の賛成を得て承認された。

専務理事より今年の各地区の懇親忘年会当日の講演会講師の報告があった。

次回定例理事会：

平成19年1月10日(水) 10:30～12:00
 東京/八重洲富士屋ホテル

第89回 教育委員会

日 時：11月21日(火)12:30～15:00

場 所：機械工具会館 5階会議室

出席者：植田委員長、委員6名、事務局3名

委員長挨拶：

JIMTOFは見落したかもしれないが、変わった商品はなかった。パブル気味市場の恩恵か、商売は中身が濃かった。一般産業、電機、建機がよく、小型機械は少し心配な不安定要素があるが、トヨタの設備発注が来秋頃出てくるようだ。今は一般産業、石油関連、航空機が好調なので、自動車が遅れて設備増強すると受注が長続きして好都合である。長期的によい方向に進むと有り難い。

議 事：

(1)18年度SE講座集合教育、更新研修必修専門講座実施報告

専務理事より報告。受講者の増加により会場を変更し日々場所を変えてしのいだ。SE集合講座は正会員78名、メーカー52名、リース73名、外部23名、総計226名となった。更新の受講生27名を除くとSE新規受講者は199名となる。更新研修は東京29名、名古屋27名、計56名で、内訳は正会員33名、リース19名、外部4名。

(2)19年度講座組み換え、講師交代のこと

a)更新研修必修専門講座「生産技術について」は中小企業診断士、仁木エンジニアリング代表取締役仁木信昌氏による新講座「生産方式の潮流と生産技術との方向性から探る機械設備のあり方」に変更。

b)更新研修必修専門講座「有機EL等FPDとそれらの製造設備について」を終了し、元(株)鯖江村田製作所専務取締役事業部長福井則夫氏による新講座「ものづくりの原点と最近の工作機

械」に変更。

(3)SE通信講座テキスト改訂について

19年度に「特殊加工機」及び「産業ロボット」テキストの改訂を進めることにした。「物流マテハン」については必要であれば一部修正する。

(4)19年度SE講座集合教育、更新研修必修専門講座会場及び日程について

専務理事より、19年度も18年度並の受講者を想定し、受講生の受講環境、便利さを勘案してSE集合講座の3会場開催を含め下記提案があり、了承された。

a)SE講座集合教育

東 京：10月11日(木)～13日(土)

仏教伝道センター

大 阪：10月18日(木)～20日(土)

新梅田研修センター

名古屋：10月25日(木)～27日(土) I.M.Y.

b)更新研修必修専門講座

東 京：11月8日(木) 仏教伝道センター

名古屋：11月15日(木) I.M.Y.

(5)その他

管理職研修についての意見交換を行い、

- ・1泊2日程度のグループミーティングを含めたセミナー
- ・研修テーマを絞り込んだ日帰り講座に関し、求められる研修テーマを更に煮詰めることにした。

次回開催：

平成19年2月27日(火) 12:30～15:00

機械工具会館 5階会議室

インターネット委員会議録(27回) ネット会議3回

発信日：10月23日

集計日：10月31日

参加者：後藤委員長ほか6名

議 題：

日工販HP用のレンタルサーバーの容量が足りなくなり、下記対応となった。

- ・10月11日掲載「日工販お知らせ」の米国統計が途中までの表示となった。
- ・18日は、検証用画面でも表示できず米国統計を削除して掲載。
- ・19日には、KDDI-NSLで受注統計等の掲載ができず、とりあえず日工販ニュース2003年度の掲載を一時削除してアップロードした。

上記状況を踏まえ、

1. HPレンタルサーバー容量変更。

2. 「日工販ニュース」のバックナンバー掲載期間。

3. 利用されていない「掲示板」廃止。

4. その他削除してもよいページ。

について委員の意見を求めた結果、下記意見に集約された。

1. 日工販HP用のレンタルサーバーの容量を、50MBに契約変更を行う。
2. 「日工販ニュース」の過去年度掲載を2年間とする。
3. 「掲示板」を廃止。
4. 削除してもよいページとして「日工販見積書式」のご意見があった。

上記結果をインターネット委員会として、11月15日の理事会に、報告・提案することにした。

中部地区工場見学会

日 時：11月20日(月) 13:20～15:40

見学先：ブラザー工業(株) 瑞穂工場

参加者：正会員17社38名、賛助会員リース4社8名 計46名

<当日のスケジュール>

13:20 中部地区委員長 サンコー商事(株) 井内社長挨拶

13:25 ブラザー販売(株) 湊常務ご挨拶

タッピングセンター生産台数は500台/月 国内販売1/3 海外販売2/3

1985年1号機完成、2007年3月には40,000台達成見込み

13:30 ブラザー販売(株) 佐藤副事業部長よりスタッフご紹介

- 13：40 ブラザー販売(株) 技術企画G 佐藤氏による新製品説明
- ・TC-S2Cテーブル移動機
 - 特長 ATC時間が他社製品に比べ35%速く、生産性10%アップ
 - 優れた加工能力...エンドミル、リーマ、ボーリング加工にも対応
 - ・TC-31Bコラム移動機(テーブル移動機よりもさらに生産性UP)
 - 特長 コンパクトマシンにパレットチェンジ搭載 ワーク交換のロスタイムなし
 - 自動車小物部品、IT部品などの小物部品加工に対して、生産性の更なる向上を実現したコラムトラバースマシン
- 14：10 ブラザー工業(株)製造部 広瀬GMによるTC生産方式説明
- 14：30 ブラザー工業(株)製造部 広瀬GM、森山TLによる工場見学ガイダンス
- 14：40 ブラザー工業(株)製造部 広瀬GM、森山TLによる工場案内
- ・組立ライン見学
 - ・ショールームにて実機見学及び加工実演デモ
- 15：30 質疑応答 切粉対策や納期に関する質問あり
- ブラザー販売(株)佐藤副事業部長ご挨拶

<感想>

徹底した品質管理と独自のチェックシートを活用した二重三重の精度チェックなど「品質に対するこだわり」に大変感銘を受けました。又、工場内の整理・整頓が行き届いており、従業員の方々の挨拶等感心させられることが多く、とても勉強になりました。今回の工場見学では日本のものづくりの原点を見たような気が致します。(松林 顕・サンコー商事(株)本社営業部)

中部地区製品研修会

日時：10月11日 9：00～16：00

場所：名古屋ダイヤモンドビルディング 2号館4階 8会議室

参加者：正会員73名、リース9名、計82名

井内地区委員長の挨拶があり、JIMTOF2006を直前に控え、#30マシニングセンタを中心とした出品製品の研修会はタイムリーな企画でした。メーカー5社ともパソコン、プロジェクターを利用した視覚に訴える動画を交えての説明は分りやすくよかったと思います。比較的に若手営業員の参加が多くその受講態度は説明者側にも好印象を与えたようです。ご説明をいただきましたメーカー各社には心よりお礼申し上げます。

尚、研修スケジュールは次頁の通りです。

No.	時間	会社名	説明機種名、モデル名	説明者
9:25 開講挨拶 井内 敬 地区委員長				
1	9:30~10:30	ブラザー販売㈱	CNCタッピングセンター TC-S2C他	産業機器事業部マーケティング推進部技術・企画G 岩井 雅行
2	10:40~11:40	豊和工業㈱	立て形マシニングセンタ	機械事業部営業管理課係長 後藤 孝一
11:40~12:30 昼休憩				
3	12:30~13:30	ファナック㈱	立て形CNCドリル FANUC F0BODRILL iEシリーズ	ロボカット・ロボドリルセールス本部 技術部部长 高橋 昭二
4	13:40~14:40	㈱ツガミ	立形精密マシニングセンタ VMA3 VMA4 VMC3 VMT VML3	マシニングセンタG GL 堀井 英夫
5	14:50~15:50	東洋精機工業㈱	機械幅1m小型ラインタイプ 縦形MC TVT302 生産性を追及したクイル式横形MC THMC 310	R&Dセンター次長 小川 毅
16:45 閉講挨拶 萩原宏明 地区副委員長				

(注)各講座とも説明55分、質疑応答5分。

西部地区製品研修会

日時：10月3日(火) 9:45~17:00 場所：大阪産業創造館6階会議室E

参加者：正会員66名、リース5名、計71名

横幕副委員長の開会の挨拶があり、例年通りメーカー6社の協力を得て11月に開かれるJIMTOF出展機について説明を受けました。近年はJIMTOFが東京開催だけになってしまい、当地区の会員も全てが必ずしも見学に行くことができる訳ではないので参加者はメーカーの最新の機械について真剣に聴講していました。そのため説明するメーカーも熱を入れて説明をされていました。メーカー各位には心よりお礼申し上げます。今回の説明会の内容は下記の通りです。

No.	時間	会社名	説明機種名、モデル名	説明者
9:45 開講挨拶				
1	9:50~10:40	㈱岡本工作機械製作所	新形平面研削盤PSG106CGX CNCプロファイルUPZ2210Li CNCアンギュラ形円筒研削盤OGM330NCAGB	大阪営業所所長 武 貞 明 宏
2	10:50~11:40	オークマ㈱	2軸制御CNC旋盤NEW LB300M/LB400MY 小型複合加工機NEW MILLAC33T5X 新金型加工機 MILLAC55H	大阪支店主事 石 田 稔
11:40~12:50 昼休憩				
3	12:50~13:40	㈱ソディック	形彫り放電加工機AP1L ワイヤーカット放電加工機AP200L	営業技術本部副本部長 小 林 繁
4	13:50~14:40	㈱滝澤鉄工所	平行2スピンドルCNC旋盤 TT-350 複合NCN旋盤 TNR-200	大阪営業所所長 田 口 巧
5	14:55~15:45	㈱牧野フライス製作所	JIMTOF出展機について	営業企画室長 須 藤 泰 雄
6	15:55~16:45	三菱電機㈱	超・精度ワイヤ放電加工機/PA05S Aqua Surface 高精度形彫り加工機 EA8PV	名古屋製作所放電システム部次長 鈴 木 俊 雄
16:45 閉講挨拶				

講義：約50分(説明：約45分、質疑：約5分)

東部地区懇親ゴルフ会

日 時：11月11日(土)

場 所：龍ヶ崎カントリー倶楽部

参加者：正会員7名、メーカー2名、リース3名、計12名

あいにくの雨の為今回は9ホールでの大会となりましたが、参加者全員チャレンジングな名門コースで元気一杯のプレーを楽しんでおられました。

競技終了後の懇親会では各社の近況報告並びにJIMTOFレビューを行い有意義な一日となりました。尚、成績は以下の通りです。

RANK	氏 名	会 社 名	OUT	IN	GROSS	H CP	NET
優 勝	小 川 慎 一	(株)エムエムケー	-	42	42	7.2	34.8
準優勝	西 川 浩 平	協同リース(株)	-	47	47	10.8	36.2
3 位	安 達 徹	住友商事マシネックス(株)	-	54	54	16.8	37.2

西部地区懇親ゴルフ会

日 時：10月17日(火)

場 所：センチュリー吉川ゴルフ倶楽部

参加者：正会員9名、メ - カー5名、リース3名、計17名

スポーツの秋、天候も快晴に恵まれ、日頃の忙しい仕事を離れ爽快な気分で皆さんはプレーを楽しまれていました。珍プレーもありましたがスコアはしっかりとまとめておられました。プレー後引き続き懇談の場を持ち各社の近況報告があり、最近の好況を反映し、賑やかな盛り上がった場となりましたが定刻となり散会しました。

上位の入賞者は下記の通りです。

RANK	氏 名	会 社 名	OUT	IN	GROSS	H CP	NET
優 勝	今 泉 洋 一	三菱商事テクノス(株)	48	46	94	25.2	68.8
準優勝	橋 本 和 久	(株)東 京 精 密	53	49	102	28.8	73.2
3 位	山 本 雅 英	三 菱 電 機 (株)	44	51	95	20.4	74.6

競技方法：ダブルペリアを採用しました。

「一期一会」



常盤産業(株)
鈴鹿営業所長
江原 春 樹

入社、早十数年！

「工作機械・切削工具・油圧機器！」なんのことも分からず知識も無く、此の業界に身をおきました。
私の好きな言葉に「一期一会」があります。

『茶会の心得として、一生に一度だという思いをこめて、主客とも誠心誠意、真剣に行うべきことを説いた語。転じて、一生に一度しかない出会い。一生に一度かぎりであること』

このような気持ちで、周囲の方々と接することにより、今の自分があるのだと思います。

私が入社し「工作機械」に接したのは、九州の某自動車メーカーで、加工設備の管理保守をしている部署を担当した時です。

担当者より機械の予備部品を手配してほしいと、部品名を書いた用紙を見せられたり、壊れた現物を渡されたり、ある時は機械の裏側で、ペンライトで指示された部品を油汚れしながら間違え無いように品名を手帳に書き込みメーカーへ問い合わせ、又カタログ、資料と格闘する日々でした。

そんな中、パニックで逃げ出したいくなりそうな電話！

担当している部署の厳しい主任より(どこの会社、どこの部署にも怖く・厳しい、近寄りたがい人がいるものです)

「今、機械が止まった。大至急どうにかしろ！壊れた交換部品すぐ持って来い！」

相手方の厳しい顔が目につかび、冷や汗がドーンと出てきて、受話器を置きました。

入社間もない私でも、量産ラインの機械が止まる事の重大さは分かります。

メーカーへ大至急問合せ、部品を探し回り、やっとの思いで、探し当てた部品がもう時間外で出荷できないとの返事、再三、状況説明並びに懇願し、一番機の航空便で荷物を受取り、その主任のもとへ届けました。

「部品持ってきてくれたか、もうこれで大丈夫だ、ありがとう。」その言葉を聴き、肩から力がスーッと抜けていった事を思い出します。

後で別の担当の方に聞いたのですが、どうにか応急対応し機械は動いていたとのこと。

そのような部署を担当させて頂き、周囲の方々よりライン工程の生産機械について御指導を頂くことにより、私と工作機械の深い関わりが醸成され、今の私があるのだと思います。

現在、私は異動で九州を離れましたが色々なお客様の要望に対し、どう早くきめ細やかな対応ができるのかと考えながら、今まで接してきたユーザー・メーカー・その他色々な方との出会いを大切に、又今からの新しい出会いを楽しみに歩んでいきたいと思っています。



タッチアンドゴー

㈱兼松KGK 東京営業部4課

村岡 悠子

先日、お客様と一緒にヨーロッパへ機械出荷前立会いの為出かけました。その帰り、事件が起きました。私は、充実した内容の出張ができたことと、メンバーに感謝の思いを馳せながら、経由地へ向かう飛行機に乗り帰路に着きました。座席で微睡んでいると機内が大きく揺れだしました。外を見ると、薄い雲の上。「そんなに天気は悪そうではないのに」しかし、機内の揺れは激しさを増すばかりです。着席しシートベルトを締めるようアナウンスがありました。客室乗務員の方もサービスを中止し、席に付いている様子。(まー、まー、よくある、よくある)と自分に言い聞かせ、外をじっと見ていました。(約1時間のローカル線のフライトだから、すぐに到着だし大丈夫でしょう)と思いながらも、「大丈夫ですかね」と隣の同行者の方と話していました。飛行機の揺れは収まるどころか、強さを増し、客室乗務員の方のサービスも再開されないまま飛行機は着陸態勢に入りました。飛行機が高度を下げて、下げて、揺れは全く収まりません。地面が見え始めました。機内は奇妙なほど静まり返っています。みんな外に大注目です。木が大きく揺れているのが見えます。「本当に着陸できるの?」と、不安っぱいの乗客を乗せ、右に左にバランスを崩しながら飛行機はみるみる降りていきます。ドーン、と衝撃があったと同時に、あ!!!危ない!!!左の翼が地面に付く!!!衝撃が来るかと身構え、息を呑みました。その瞬間、飛行機の大きなエンジン音と共に強い重力を感じました。前方からすごい勢いで上昇しています。何、何、何?私は初めての動きに、何が何だかわかりませんでした。以前ニュースで見たことがある、名古屋であった事故のことを思い出しました。飛行機は高度を上げ、着陸前の高度に戻っていました。機内はまた静まり返っています。隣に座っていた同行者の方と寿命がどれくらい縮まったかを話していました。このような状況になると、さすがに予定の空港には降りられないのではないかと、いや、燃料が足りなくなって、変なところに着陸しなければならなかったり等余計なことが頭を駆け巡ります。空港上空で旋回していたのは10~15分ぐらいでしょうか、二度目の着陸態勢に入りました。一度着陸復航して以来アナウンスは一度もありません。飛行機の高度は下がりますが、最初の時ほど揺れがひどくありません。左右のバランスも安定している状態で無事着陸。スピードを徐々に落とし、通常通り進んでいきます。ホッとしました。と同時に、機内で拍手が起きました。乗客一同、不安に思っていた気持ちが表れたようでした。みんな不安だったに違いありません。

ブリッジではなく、バスに乗り換える広い場所に停止しました。そこで機内アナウンスです。「本日ムルフトハンザドイツ航空をご利用いただきありがとうございました。ただいまフランクフルト空港へ到着しました。到着が遅れましたことをお詫び申し上げます。またのご利用をお待ちしております。また、本日は風が強いので十分気をつけてお出かけ下さい。機内で笑いが起きました。その言葉で、一瞬にしてみんなの緊張の糸が切れました。

珍しい経験をしたな、と思いながらも、もう二度とあのような思いはしたくないです。

次回は黒田精工㈱(東部営業部東京1課 上野浩央さん)にお願いしました。ご期待ください。

統計資料

工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

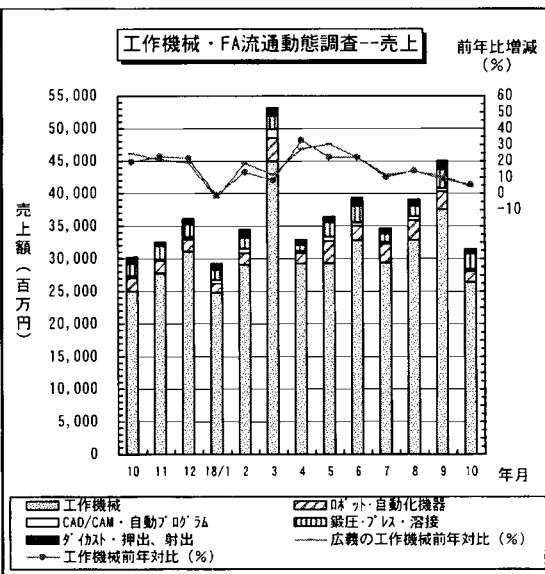
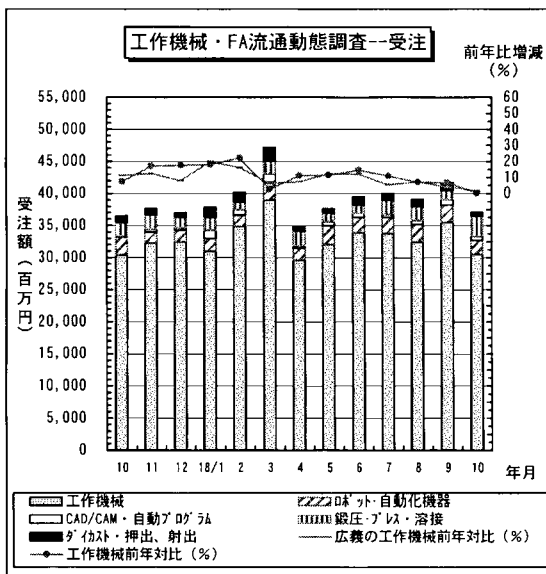
34社合計		受 注					売 上				
調査月次		18/10	前月比	前年比	18/1-18/10	前年比	18/10	前月比	前年比	18/1-18/10	前年比
広義の工作機械	工作機械	30,532	-14.0%	0.3%	332,783	10.1%	26,378	-29.7%	5.6%	316,155	12.9%
	ロボット・自動化機器	2,137	-20.5%	-21.4%	23,315	3.7%	1,671	-38.5%	-17.3%	24,224	24.4%
	CAD/CAM・自動プログラム	623	-27.8%	190.3%	7,687	29.8%	354	-37.9%	2.0%	6,161	31.6%
	鍛圧・プレス・溶接	3,149	128.4%	56.7%	19,014	-8.9%	2,341	-18.4%	29.9%	18,888	17.3%
	ダイカスト・押出、射出	632	-50.1%	-42.4%	12,358	10.6%	763	-42.7%	-30.6%	10,462	17.7%
	小計	37,072	-11.1%	1.7%	395,156	8.9%	31,506	-30.0%	4.2%	375,889	14.2%
	工作機械以外の扱い商品	12,817	-15.5%	-1.8%	136,913	2.9%	12,043	-19.5%	10.3%	129,935	10.6%
	合計	49,890	-12.3%	0.7%	532,614	7.4%	43,549	-27.4%	5.8%	506,218	13.1%
	従業員数	1,229	0.0%	3.5%							

統計2

単位百万円

32社合計		受 注					売 上				
調査月次		18/10	前月比	前年比	18/1-18/10	前年比	18/10	前月比	前年比	18/1-18/10	前年比
内訳	直販	20,365	-27.3%	-18.7%	241,179	4.1%	27,103	2.3%	-7.0%	236,386	6.5%
	(内リース)	1,985	34.8%	7.9%	15,447	-1.2%	3,247	68.3%	-14.3%	21,965	12.7%
	卸	10,695	11.7%	8.9%	95,811	13.5%	12,802	16.9%	32.1%	107,773	21.4%
	輸入	244	-89.2%	306.7%	6,819	165.9%	327	-47.8%	9.9%	4,976	67.6%
	輸出 (内トランスプラント)	3,454	-32.8%	-21.2%	44,916	11.0%	6,711	55.0%	9.3%	46,164	14.4%
		196	-89.5%	378.0%	2,253	97.3%	0	-	517.8%	3,316	131.1%
	従業員数	956	0.0%	4.0%							

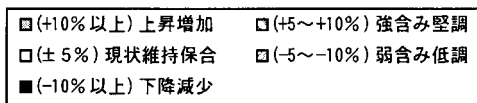
注：本調査は会員72社中統計1に関しては42社、統計2に関しては36社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。



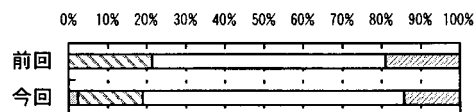
工作機械・F A 流通動態調査 2

今回平成18年10月調査 / 前回平成18年7月調査対比

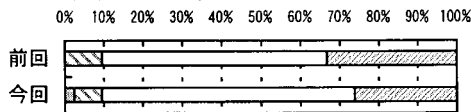
1. 工作機械全体見通し



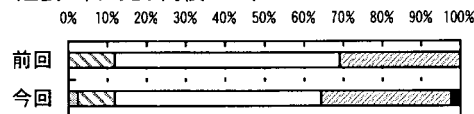
現状に比し直近(1~3ヵ月)は



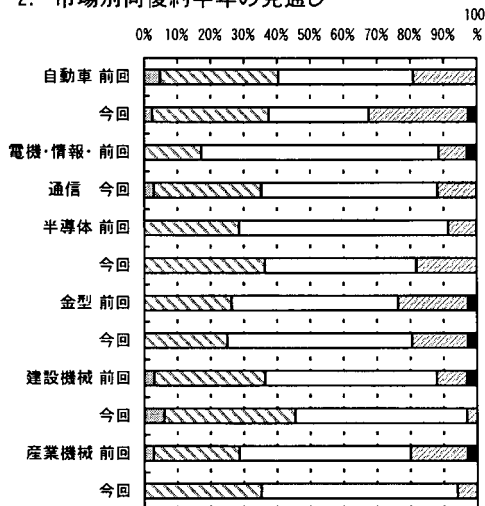
過去半年に比し向後の半年は



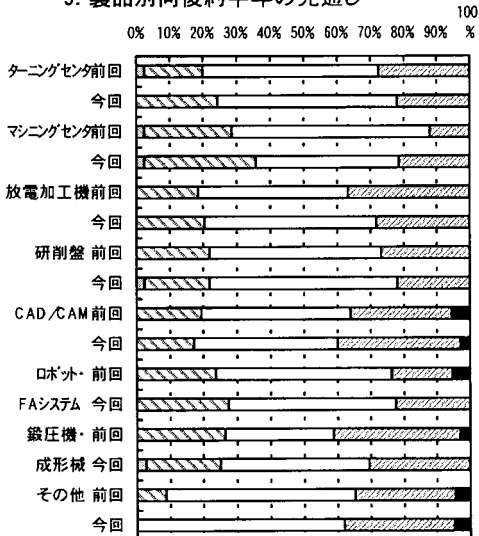
過去1年に比し向後の1年は



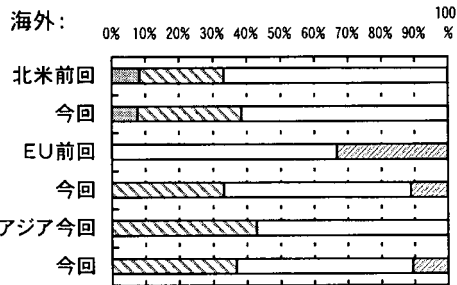
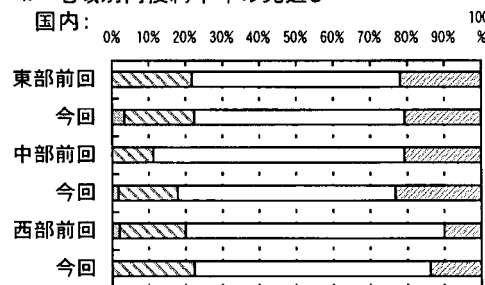
2. 市場別向後約半年の見通し



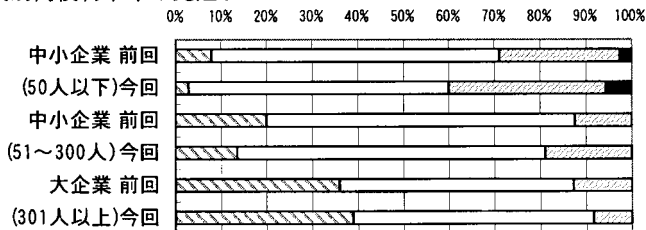
3. 製品別向後約半年の見通し



4. 地域別向後約半年の見通し

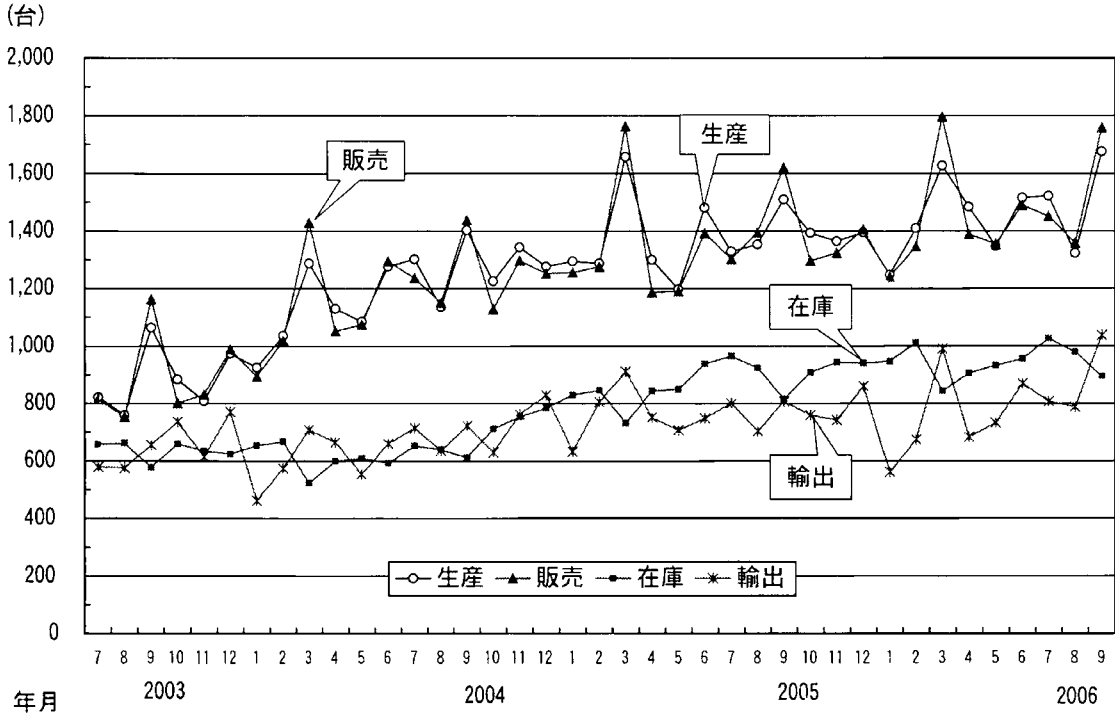


5. ユーザー規模別向後約半年の見通し

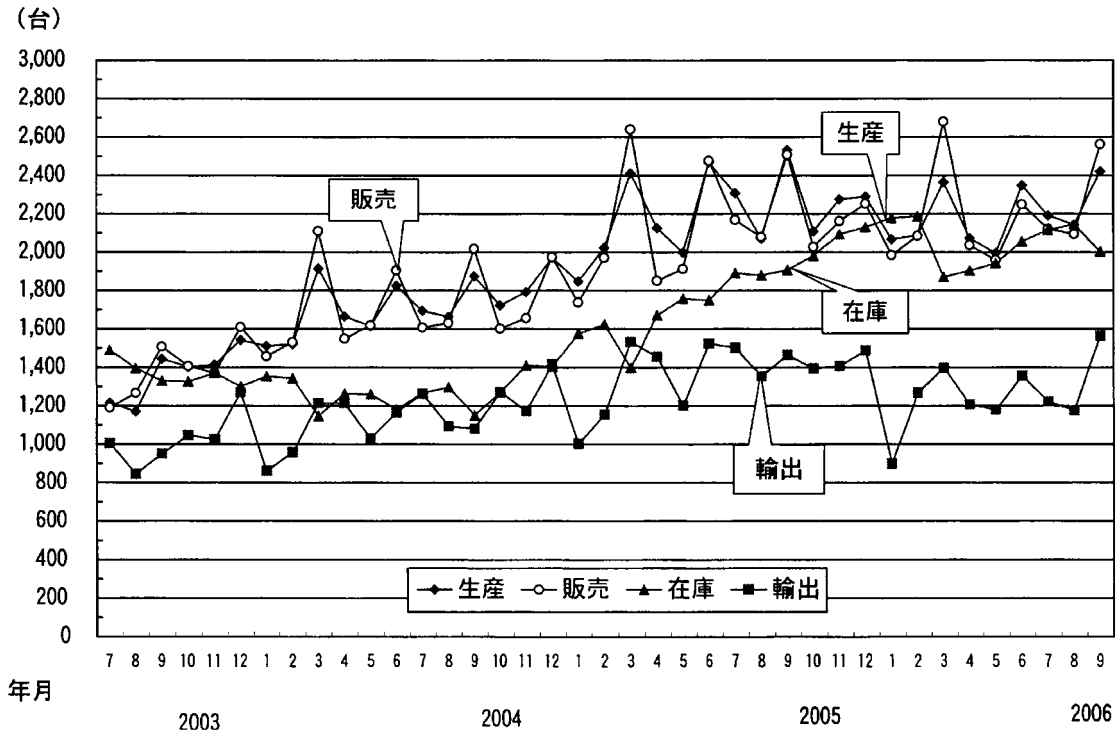


注: 調査データは日工販ホームページをごらんください。

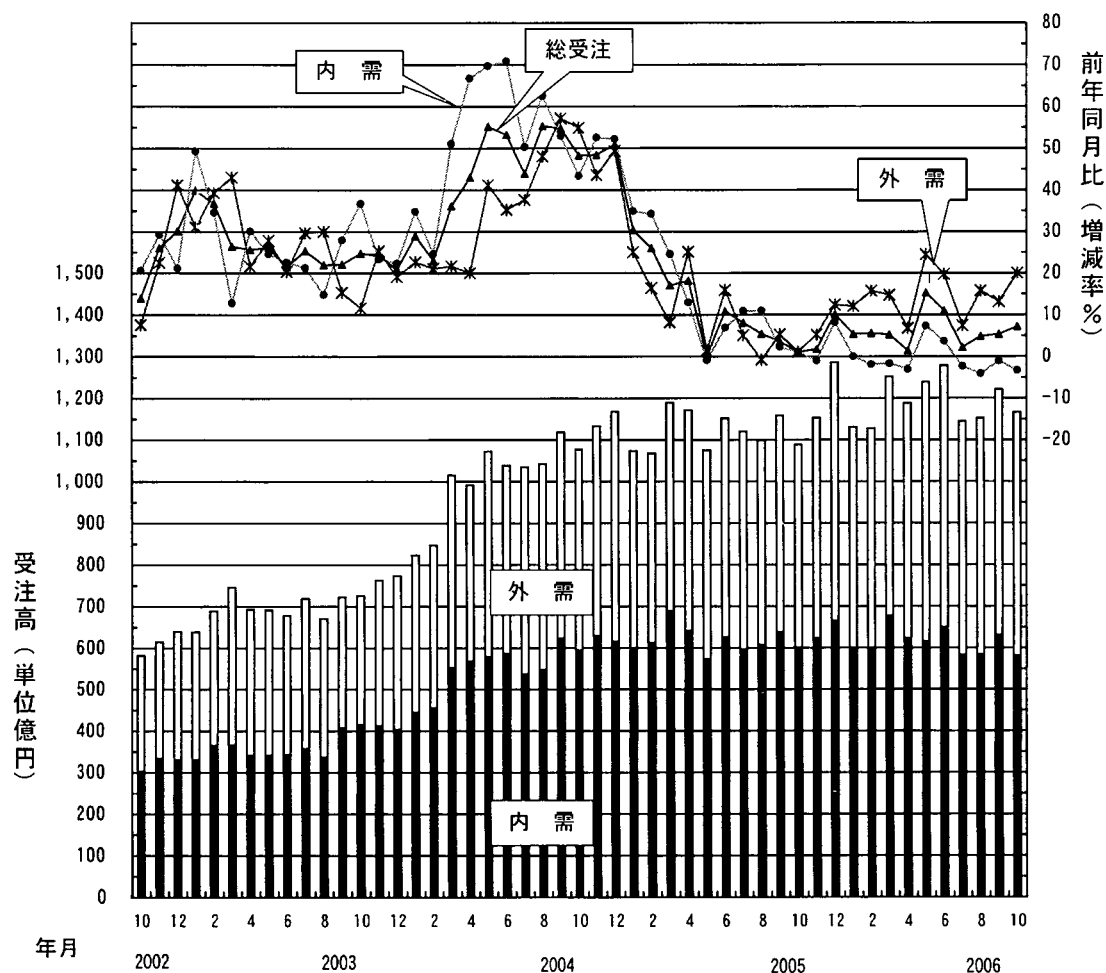
マシニングセンタ動向



NC旋盤動向



工作機械受注高月別推移



コメント：工作機械受注高月別推移

当期（7～9月）の月別受注額は前期（4～6月）同様1,100～1,200億円台を保っている。

当期になり内需は前年を割ってしまったが、外需の好調に救われて総受注は前年比4.1%増となった。前期比を見ると内需4.8%減、外需5.4%減、総額で5.1%減となり高原状態ではあるが増加はしていない。今後の推移は微妙な動きとなってきた。

コメント：マシニングセンタ、NC旋盤動向(四半期ベース)

第3四半期に入り前年比で生産はマシニングセンタ7.8%増、NC旋盤は2.3%減。販売台数はマシニングセンタ5.8%増、NC旋盤は横這い。そのため前期同様、在庫は5.1%増となる。輸出はマシニングセンタ13.8%増、NC旋盤は8.3%減となる。NC旋盤は前期も輸出は減少しており、今後の推移について充分注意深く見守る必要がある。

しかし生産は前期比ではそれぞれ4.0%増、5.3%増。販売はそれぞれ7.9%増、8.5%増。そのため在庫はそれぞれ6.3%減、2.6%減となった。輸出については、それぞれ15.2%増、5.9%増であった。息の長い上昇はまだ続いている。

工作機械業種別受注額(2006年10月)

11月16日発表

(単位:百万円、%)

需要業種	期間	2005年 累計	前年比	2006年 4~6月 累計	2006年 7~9月 累計	前期比	前年 同期比	2006年 1~10月累計	前年 同期比	10月分	前月比	前年 同月比
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	11,619	134.9	4,366	2,741	62.8	137.8	10,816	120.7	941	106.0	89.6
	2. 金属製品	22,641	102.6	5,915	5,360	90.6	107.3	18,189	92.0	1,337	67.5	63.4
	3. 一般機械 (内金型)	302,287	114.3	85,340	83,649	98.0	111.5	274,441	110.2	26,125	90.8	103.5
	4. 電気機械	73,807	112.4	17,179	17,286	100.6	95.0	56,570	92.3	3,926	69.2	72.5
	5. 自動車 (内自動車部品)	44,296	87.0	12,667	11,775	93.0	102.1	43,006	117.3	4,308	105.5	92.2
	6. 造船・輸送用機械	258,959	114.8	51,194	46,184	90.2	73.2	166,767	76.7	14,598	89.4	82.8
	7. 精密機械	110,547	108.4	21,670	21,156	97.6	72.1	73,953	77.8	8,062	101.4	101.4
	3~7. 小計	23,942	138.2	6,451	7,037	109.1	109.4	22,947	120.0	2,555	73.9	117.3
	8. その他製造業	32,913	99.8	8,868	8,676	97.8	115.3	30,441	115.2	3,504	130.2	129.1
	9. 官公需・学校	662,397	112.0	164,520	157,321	95.6	96.2	537,602	98.0	51,090	92.3	97.4
	10. その他需要部門	33,333	88.6	7,985	9,861	123.5	103.0	30,879	114.2	2,881	88.0	126.0
	11. 商社・代理店	1,588	86.2	244	463	189.8	174.1	1,390	128.2	350	169.9	184.2
	1~11. 内需合計	6,081	204.7	3,338	1,789	53.6	101.4	7,353	144.7	490	79.3	45.4
	12. 外需	9,050	108.4	2,201	2,003	91.0	106.9	7,577	101.8	960	124.8	111.6
1~12. 受注累計 (内NC機)	746,709	111.0	188,569	179,538	95.2	97.6	613,806	99.3	58,049	92.0	96.7	
	616,494	109.4	182,021	172,213	94.6	112.1	576,116	114.9	58,581	99.2	120.0	
	1,363,203	110.3	370,590	351,751	94.9	104.2	1,189,922	106.3	116,630	95.5	107.2	
	1,304,058	110.9	352,807	336,791	95.5	104.0	1,137,257	106.2	111,944	96.5	108.1	
販売額 (内NC機)	1,275,637	124.4	326,032	369,973	113.5	108.2	1,160,397	111.0	99,561	66.0	110.3	
受注残高 (内NC機)	1,219,016	124.9	312,168	355,257	113.8	109.8	1,112,087	111.3	95,439	65.8	112.0	
	644,180	115.9	685,414	663,623	96.8	108.5	683,605	108.4	683,605	103.0	108.4	
	610,194	118.3	649,423	629,029	96.9	108.9	648,311	108.6	648,311	103.1	108.6	

出所(社)日本工作機械工業会

会員・業界消息

代表者変更 (株)ミヤノ 取締役社長 齋藤佳春(さいとう よしはる)(10月16日付)
窓口変更 常盤産業(株) 取締役社長 野上 彰

行事予定

中部地区工場見学会 11月20日(月) ブラザー工業(株) 瑞穂工場
定例理事会 平成19年1月10日(水) 八重洲富士屋ホテル
賀詞交歓会 平成19年1月10日(水) 八重洲富士屋ホテル
西部地区新春時局講演会 平成19年1月24日(水) エル・おおさか
展示会
2007自動車部品生産システム展 平成19年6月13日(水)~16日(土) 東京ビッグサイト
メカトロテックジャパン2007 平成19年10月17日(水)~20日(土) ポートメッセなごや

編集後記

安倍内閣が発足して早くも2ヵ月半が経過しました。10月の衆院補選での自民党勝利の後、福島県知事選での敗退がありましたが、重要法案と位置づけた教育基本法改正法案の衆院本会議での野党抜き可決に続き、沖縄県知事選での自公統一候補が勝利を収め、結果的に新政権は概ね順調な滑り出しをしたと見られますが、一方郵政民営化法案造反議員の復党問題で、新内閣への信任度は早くも下がり気味です。

11月の景気動向一致指数が50%を超したことは間違いないようで、ついにいざなぎ景気の57ヵ月間を抜き戦後最長の景気持続となったようですが、内閣府が行っている景気ウォッチャー街角調査による現状判断指数は50%をわずかに超す程度であり、一般大衆にとっては実感の乏しい好況持続と言えるかもしれません。先行きの景気を懸念する向きも出始めており、日銀の金利政策の動向が気にかかってきました。

日工会の受注統計も10月で49ヵ月連続前年同月比増を記録し、30ヵ月連続1,000億円を超える1,162億円を計上しました。外需は依然好調でついに1999年12月以来82ヵ月振りに内需を上回り、前年同月比19.6%増の5,838億円を計上しました。しかし内需は4ヵ月連続の前年同月比減で、3.7%減の5,782億円となり、年初から10月までの累計は前年比0.7%減となりました。内外需合計の累計は前年比6.3%増の1兆1,895億円となり、過去最高の年間1兆4,121億円を超えそうです。

本号甘口辛口にワシノ商事(株)渡邊専務が朝の挨拶についての一文をお寄せいただきましたが、その中で挨拶を返さない人が結構いる様子が伺えました。ご本人の心を込めた挨拶により徐々に挨拶が返ってきたようで、喜ばしいことです。朝の「おはよう！」の一言は言うほうも言われるほうも気分がよいものです。JIMTOF2006も盛会のうちに終わりました。賛助会員のメーカー各位からの印象記と、座談会を掲載しましたが、みなさまの今回のJIMTOFのご印象はいかがでしたでしょうか。各社大勢のお客様を招き、新製品の紹介と受注活動に取り組んでおられましたので、相当の成果が期待できるのではないかと思います。

「日工販ニュース」	Vol.18 - No.11・12	平成18年12月15日発行
発行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879	
発行責任者	専務理事 荘司 博章	
編集	日工販調査広報委員会 委員長 田尻 哲男	

日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (50音順)

平成18年12月1日現在

正会員(全72社)

[東部地区(36社)]

(株) 旭 商 工 社
 伊藤忠メカトロニクス(株)
 今井機械工業(株)
 (株) エムエムケー
 大石機械(株)
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共 和 工 機
 群馬工機(株)
 (株) 国 興
 (株) 三 機 商 会
 三洋マシン(株)
 サンワ産業(株)
 シマモト技研(株)
 住友商事マシネックス(株)
 (株) セイロジャパン
 誠和エンジニアリング(株)
 太平興業(株)
 (株) 高橋機械
 帝通エンジニアリング(株)
 (株) テ ヅ カ
 (株) トーメンテクノソリューションズ
 常盤産業(株)
 トッキ・インダストリーズ(株)
 独協機械(株)
 (株) ト ミ タ
 (株) N a I T O
 日鋼商事(株)
 藤田総合機器(株)
 松茂工販(株)
 三菱商事テクノス(株)
 (株) ヤマモリ
 ユアサ商事(株)
 米沢工機(株)

[中部地区(20社)]

石原商事(株)
 (株) 井 高
 岡谷機販(株)
 カト一機械(株)
 釜屋(株)
 岐阜機械商事(株)
 甲信商事(株)
 三栄商事(株)
 三機商事(株)
 サンコー商事(株)
 三立興産(株)
 下野機械(株)

(株) 大 成
 (株) 大 誠
 (株) 東 陽
 (株) 日 本 精 機 商 会
 浜松貿易(株)
 (株) 不 二
 山下機械(株)
 ワシノ商事(株)

[西部地区(16社)]

赤澤機械(株)
 伊吹産業(株)
 植田機械(株)
 (株) お じ ま
 関西機械(株)
 京華産業(株)
 五誠機械産業(株)
 桜井機械(株)
 (株) ジ ー ネ ッ ト
 大幸産業(株)
 (株) 立花エレテック
 西川産業(株)
 日本産商(株)
 マルカキカイ(株)
 宮脇機械プラント(株)
 (株) 山 善

賛助会員(全73社)

[製造業(53社)]

(株) エ グ ロ
 S M C (株)
 エヌティーツール(株)
 エンシュウ(株)
 オーエスジー(株)
 オークマ(株)
 大阪機工(株)
 (株) 岡本工作機械製作所
 (株) 神崎高級工機製作所
 (株) 北川鉄工所
 キタムラ機械(株)
 キャンタス(株)
 京セラ(株)
 (株) グラフィックプロダクツ
 黒田精工(株)
 (株) ジェイテクト
 (株) シギヤ精機製作所
 新日本工機(株)
 住友電工ハードメタル(株)
 (株) ソディック
 大昭和精機(株)
 高松機械工業(株)
 (株) 滝澤鉄工所

(株) ツ ガ ミ
 津田駒工業(株)
 (株) テクノワシノ
 (株) 東京精密
 東芝機械マシナリー(株)
 東洋精機工業(株)
 (株) ナガセインテグレックス
 中村留精密工業(株)
 (株) 日研工作所
 (株) 日平トヤマ
 野村精機(株)
 浜井産業(株)
 日立ツール(株)
 ファナック(株)
 富士機械製造(株)
 ブラザー販売(株)
 豊和工業(株)
 牧野フライス精機(株)
 (株) 牧野フライス製作所
 (株) 松浦機械製作所
 三井精機工業(株)
 (株) ミ ツ ト ヨ
 三菱重工業(株)
 三菱電機(株)
 三菱マテリアルツールズ(株)
 (株) ミ ヤ ノ
 メルダシステムエンジニアリング(株)
 (株) 森精機製作所
 安田工業(株)
 ヤマザキマザック(株)

[リース業(20社)]

N T T ファイナンス(株)
 協同リース(株)
 共友リース(株)
 近畿総合リース(株)
 興銀リース(株)
 首都圏リース(株)
 昭和リース(株)
 GEキャピタルリーシング(株)
 住商リース(株)
 ダイアモンドリース(株)
 東京リース(株)
 東銀リース(株)
 東芝ファイナンス(株)
 日本機械リース販売(株)
 日立キャピタル(株)
 (株) 芙蓉リース販売
 三井住友銀リース(株)
 三井リース事業(株)
 三菱電機クレジット(株)
 U F J セントラルリース(株)